

第1章 高南小学校の概要

豊島区立高南小学校は、1923年（大正12年）高田第三尋常小学校として開校しました。その後、関東大震災による校舎倒壊、火災や空襲による校舎焼失という困難を乗り越え、戦後「高田南町」という町名から、校名を「高南小学校」と変更して、現在に至っています。

教育目標

キラキラ輝く知性 わくわく高鳴る感性
豊かな思いに夢ちゅうっ子



図1



校章

校名変更と共に作られた新しい校章です。平和の象徴、「鳩」がデザインされています。

2017年 計画委員会児童が全校児童に呼びかけて考え出されたISSシンボルキャラクター。困った人がいるとピンクのハートが点滅してお知らせします。



まもっち

2 教職員と在籍児童

表1-1 教職員数（2022.5月現在）

職名	人数	内訳
校長	1	
副校長	1	
主幹教諭	3	生活指導主幹1名 研究推進主幹1名
主任教諭	6	教務主任1名 学年主任4名 特別活動主任1名 保健主任1名
教諭	11	育休代替教諭1名 非常勤教員1名
講師	1	理科
栄養士	1	
事務	1	
用務	4	民間委託
給食調理	5	民間委託

表1-2 在籍児童数（2022.7月現在）

	男	女	合計	学級数
1年生	50	37	87	3
2年生	41	33	74	2
3年生	37	31	68	2
4年生	41	18	59	2
5年生	33	29	62	2
6年生	33	47	80	2
計	227	189	416	13
特別支援教室 「あおぞら」	9	1	10	

*特別支援教室とは、教育上特別に支援が必要な児童のための教室です。

3 生活時程と高南^{セブン}7（ISS活動）、クラブ活動

8:20	までに登校
8:25～ 8:35	朝の会
8:35～ 9:20	1校時
9:25～10:10	2校時
10:10～10:30	中休み
10:30～11:15	3校時
11:20～12:05	4校時
12:05～12:50	給食
12:50～13:05	昼休み
13:05～13:15	清掃
13:15～14:00	5校時
14:05～14:50	6校時
14:50～15:05	帰りの会

表 1-3 生活時程表

【代表委員会】 (ISSに関する活動を推進) 計画委員+各委員会委員長
【委員会】 ・計画委員会・図書委員会 ・放送委員会 ・運動委員会・環境美化委員会・集会委員会 ・保健給食委員会
【クラブ活動】 ・屋外球技クラブ ・屋内球技クラブ ・パソコンクラブ ・工作、手芸クラブ ・室内ゲームクラブ ・科学クラブ ・まんが、イラストクラブ ・ダンスクラブ

表 1-4 委員会・クラブ活動

4 学校とその周辺環境

(1) 学校の状況

本校は、創立 101 周年を迎える歴史ある学校で、学区域である高田地域一体は「山吹の里」とも呼ばれ、歴史の舞台にもなった場所に位置しております。学校周辺には、古くからこの地域に住む人が多く住宅密集地域となっている一方で、近年では、大規模なマンションも建設され、児童数は年々増加しております。本校の校庭の広さは 2500m²で、児童数の増加に伴い一人当たりの校庭の広さは年々狭くなっています。

また、1974 年に建てられた現在の校舎は、増改築を繰り返し、見通しの悪い廊下があったり、同じ階なのに段差が何箇所もあったりします。車椅子の方を講師に招いた授業をする際には、他校の体育館を借りて実施しなければならない状況です。

表 1-5 一人当たりの校庭面積の推移

校庭は 2500m²

年度	2016	2017	2018	2022
児童数	259 名	317 名	331 名	430 名
一人当たりの面	9.7m ² →	7.9m ² →	7.6m ² →	5.8m ²

<高南小の校庭>



図 2

<段差が多い校舎>



図 3

高南小学区域の状況

※学区内で特に注意しなければならない場所



図4



図5

図6 学区域地図



図7



図8

(2) 学区域の様子

学校は、急な坂の下に位置し、校舎裏手の崖は、東京都の土砂災害警戒区域に指定されており、地震や大雨の際の注意が必要です。学校の西側の坂道（写真①）は、都内の自動車が通行可能な道路としては、傾斜が最も急な坂道の一つとされています。

また、学区域内には、豊島区内を流れる川としては唯一の神田川（写真②）も流れています。現在は整備されており、氾濫の危険が減ってきているとはいえ、急な大雨等の際には、川の水量にも気を付けなければなりません。

<土砂災害警戒区域指定のがけ>



図 9

<通学路を横切る都電>



図 10

(3) 学区域の交通状況

静かな住宅街ではありますが、学区域の西側を東京さくらトラム（都電荒川線）や大きな幹線道路である明治通りが横切っています。430人余り在籍している児童のうち、およそ半数の児童がこの踏切（写真③）と明治通り（写真④）を渡って通学しなければなりません。また、住宅街の道路は、曲がっている道路が多く、見通しが悪い上に細いため、歩道がありません。さらに、幹線道路の抜け道となっているところは、車の交通量も多くなっています。現在、環状5号線がつくられており、開通すると学区域の東側にも幹線道路が通ることになり、ますます危険度が増してしまいます。

<見通しの悪い正門前の通り>



図 11

<抜け道になっている路地>



図 12

第2章 インターナショナルセーフスクールへの取組

1 取組の背景

近年の学校を取り巻く状況から、学校における安全教育は大変重要な課題になっています。高南小学校では、セーフコミュニティ豊島区の学校として実践のみならず、継続的に根拠に基づいた学校体制を整えていくことが地域、保護者とともに、安全、安心な地域作りにつながっていくと考えました。

児童数は年々増加傾向にあり、その中でも低学年（1・2年生）が多く、全体の40%弱を占めています。入学間もない児童には、安全安心に学校生活を過ごせるよう継続的に安全指導を実施していくことが必要です。

本校は2018年にインターナショナルセーフスクールの認証を受けました。ISSの取組みを始めたところ、児童のけがが減少し、安全に過ごせている様子が見られました。また、各委員会で安全安心を意識した活動が始まり、その活動が学級にも広がり、今では児童一人一人が主体的に安全を意識した行動ができるようになっていきます。

インターナショナルセーフスクールの再認証に取り組むことは、児童が意識して安全安心な学校づくりをする上で大切なことです。また、学校の安全安心は学校だけで担うのではなく、保護者、地域と一体となって取り組むことであり、この三者の連携をより一層深め、児童が安心して過ごせる学校の実現を目指していきたいと思えます。

2 これまでの取組状況

表2-1 ISS取組の歴史

	全体の取組	児童主体の取組
2017年度	6月 インターナショナルセーフスクール取組宣言 ISS 認証校池袋第一小学校事前審査見学 第1回 地域対策委員会 7月 安全診断実施 9月 ふれあい給食 自転車安全教室 第2回 地域対策委員会 11月 ひろば祭り開催 スクールガードリーダー地域点検 2月 豊島区セーフコミュニティ再認証式典参加 第3回 地域対策委員会 3月 広報誌「めざせセーフスクール高南小」 第1号発行	6月 児童取組宣言 7月 高南7ISS取組スタート 計画委員会スローガン発表 マスコットキャラクター決定 9月 ISSって何だ集会 10月 保健委員会安全集会 11月 ISSをしようよ集会 12月 大掃除集会 (掃除スタンダード) 1月 図書委員会読み聞かせ 2月 うれしかなしメーター発表 地域安全マップ作成、発表 運動委員会パトロール開始
2018年度	4月 さくらまつりJB参加 1年生交通安全教室 6月 第4回 地域対策委員会 民生児童委員紹介(全校朝会) 避難訓練、豊島消防署参観 7月 事前審査	4月 児童ISS委員会 新年度発足 仲良しプロジェクトスタート 5月 全校遠足 放送委員会一言メッセージスタート 6月 図書委員会安全安心読み聞かせ 7月 プレ審査歓迎集会

	<p>9月 第5回 地域対策委員会 自転車安全教室 ふれあい給食</p> <p>11月 アジア認証センターによる現地審査 ひろば祭り開催</p> <p>2月 第4回 地域対策委員会</p> <p>3月 広報誌「セーフスクール高南小」発行</p>	<p>I S S プレ審査</p> <p>11月 I S S 本審査</p> <p>1月 縄跳び週間</p> <p>2月 大縄集会 右側歩行を呼びかける表示作成</p>
2019年度	<p>4月 さくらまつり J B 参加 1年生交通安全教室</p> <p>6月 第5回 地域対策委員会 民生児童委員紹介（全校朝会） 避難訓練、豊島消防署参観</p> <p>9月 第6回 地域対策委員会 自転車安全教室 ふれあい給食</p> <p>11月 ひろば祭り開催 人権集会</p> <p>2月 第7回 地域対策委員会 介助犬交流 車椅子体験</p> <p>3月 広報誌「セーフスクール高南小」発行</p>	<p>4月 児童 ISS 委員会 新年度発足 チャンレンジ forG1 スタート ISS テスト</p> <p>5月 全校遠足</p> <p>6月 図書委員会安全安心読み聞かせ</p> <p>10月 ISS 週間の設定</p> <p>11月 ISS 縄跳び運動</p> <p>2月 大縄集会</p>
2020年度	<p>6月 分散登校開始</p> <p>7月 一斉登校開始</p> <p>9月 自転車安全教室 交通安全教室</p> <p>11月 人権集会</p> <p>3月 広報誌「セーフスクール高南小」発行</p>	<p>7月 ソーシャルディスタンス呼びかけ</p> <p>9月 児童 ISS 委員会 新年度発足 校庭・校内パトロール開始 (運動委員会)</p> <p>1月 ISS 縄跳び週間</p> <p>2月 大縄集会</p>
2021年度	<p>4月 1年生交通安全教室</p> <p>6月 第8回 地域対策委員会 民生児童委員紹介（全校朝会） 避難訓練、豊島消防署参観</p> <p>9月 第9回 地域対策委員会 自転車安全教室</p> <p>2月 第10回 地域対策委員会</p> <p>3月 広報誌「セーフスクール高南小」発行</p>	<p>4月 児童 ISS 委員会 新年度発足 人権の花活動（環境美化委員会） 校庭・校内パトロール開始 (運動委員会)</p> <p>6月 高南まつり</p> <p>9月 アルティメット体験スタート</p> <p>11月 ふれあいタイム 100周年児童集会 安全マップ作り（3年生） 地域探険（2年生）</p> <p>2月 大縄集会</p>

第3章 けがの状況

1 安全診断の実施（2022年、3月）

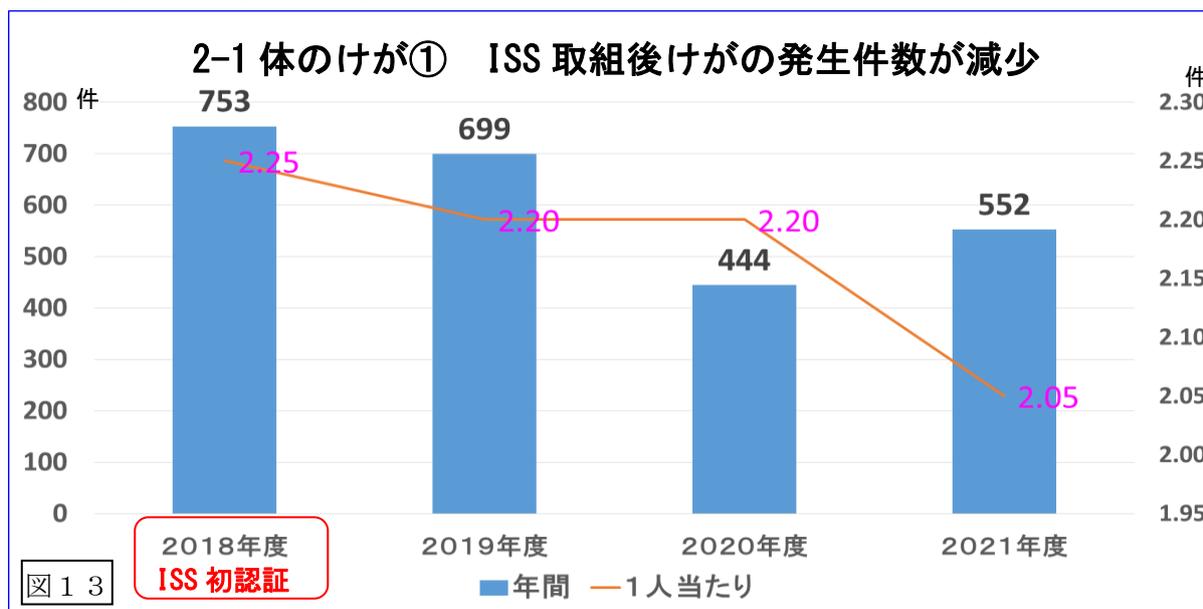
セーフスクールの認証取得をした2018年度から安全診断の実施をしています。安全診断は、教職員が学校内外での児童の生活で気になることを持ち寄り意見交換するものです。以下に示している項目は昨年度の話し合いで挙げた内容の一部です。

- ・1年生のけがが多い。
- ・児童同士がぶつかってけがをすることがある。
- ・踏切や細い道でのヒヤリハットが多い。
- ・衝動的な悪口や暴力が低学年に多い。
- ・集団でのからかいがある。

安全診断で話し合った内容は、毎月の安全指導において児童に伝え、自身の行動がどうだったのかを振り返らせています。また、各委員会の委員長から構成する代表委員会がISSの活動をより実効性のある取組みにするために学校の安全・安心についての課題を共有し、教職員とともに改善に努めています。

2 校内のけが

(1) 軽微なものを含むけがの発生状況（校内で発生したけが「保健室データ」より）



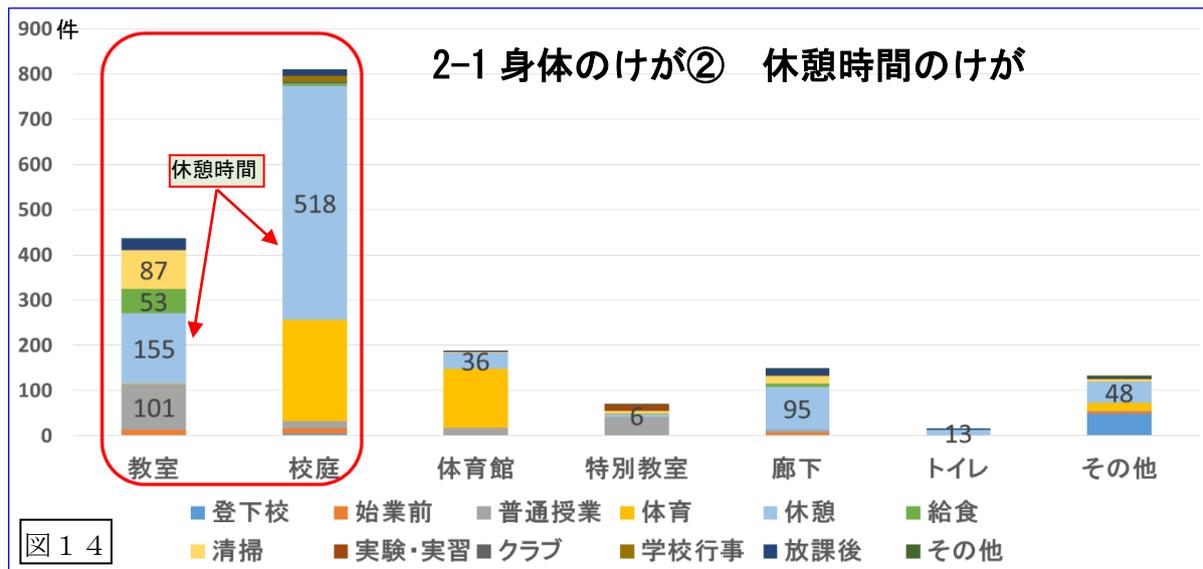
- ・ISSの取組を始めてから、けがの発生件数は減少しています。
- ・1人あたりのけがの割合も減少しています。

表3-1 【軽微なものを含むけがのうち、通院を要するけがの発生状況】

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
けがの発生件数	937	753	699	444	552
通院を要するけが	4 (0.42%)	6 (0.79%)	17 (2.4%)	13 (2.9%)	15 (2.7%)

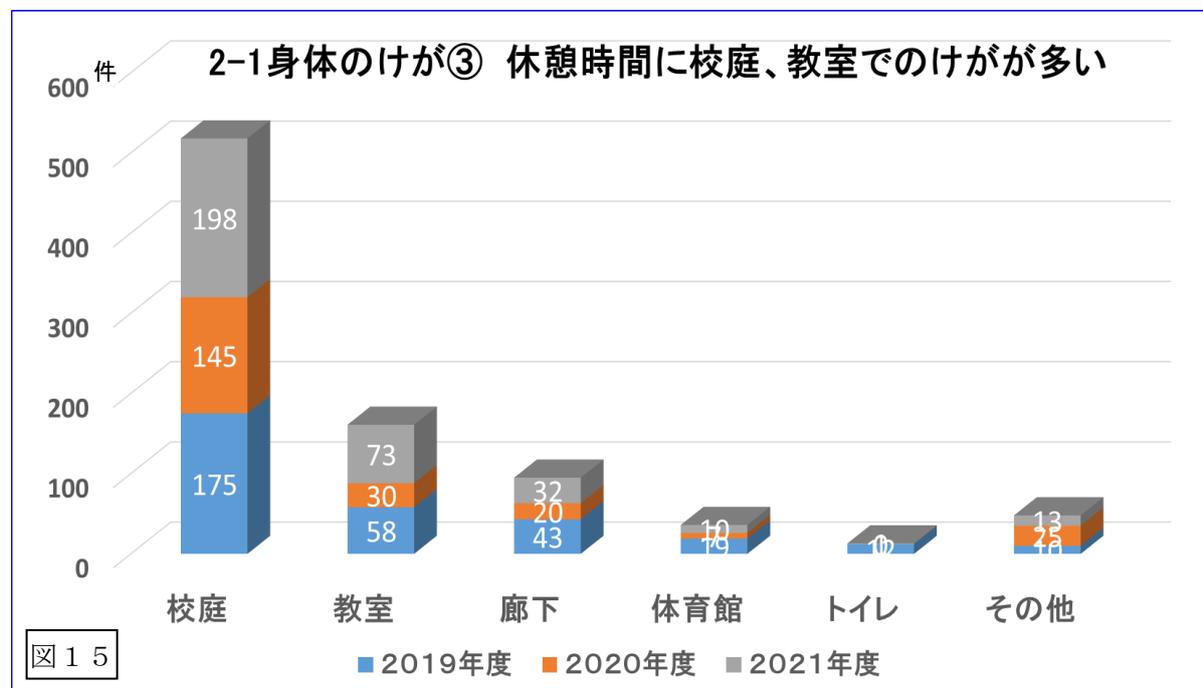
- ・けがの発生件数は年々減少傾向にありますが、通院を要するけがが2017年度から2020年度まで年々増加しています。2021年度は2.2%に減少したが、依然として高い数値であります。

【場所別場面別けがの発生件数（2019年度～2021年度）】



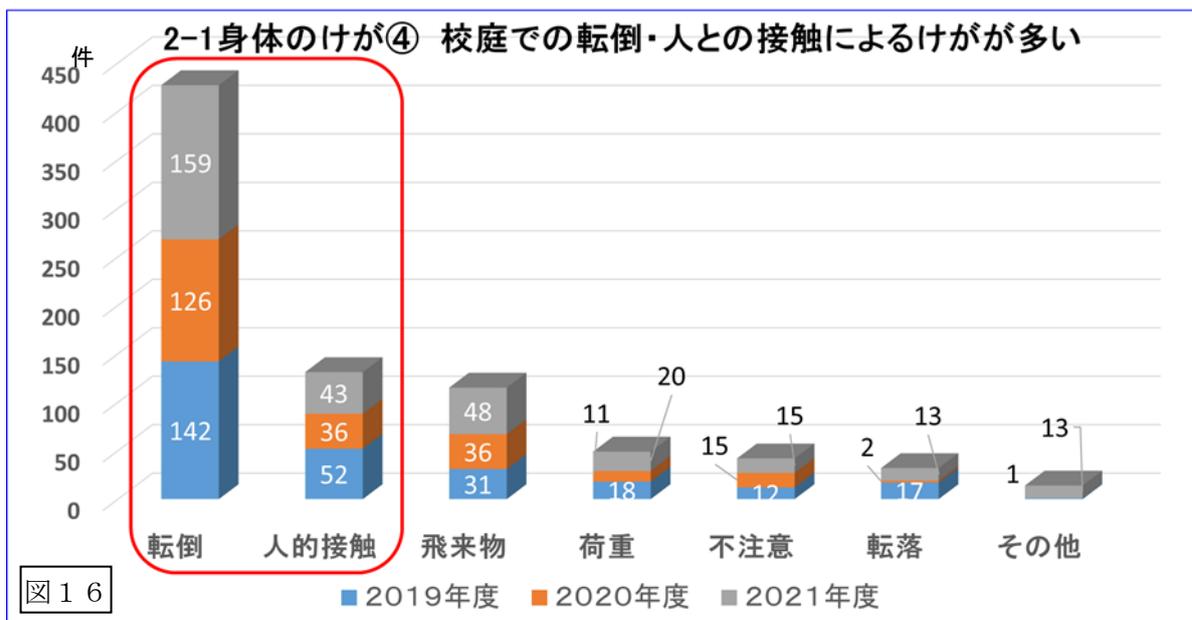
全体的にみると、休憩時間にけがが一番発生しています。
 休憩時間の校庭でのけが、体育の授業中の校庭と体育館のけがが多くなっています。

【休憩時間の場所別けがの発生件数（2019年度～2021年度）】



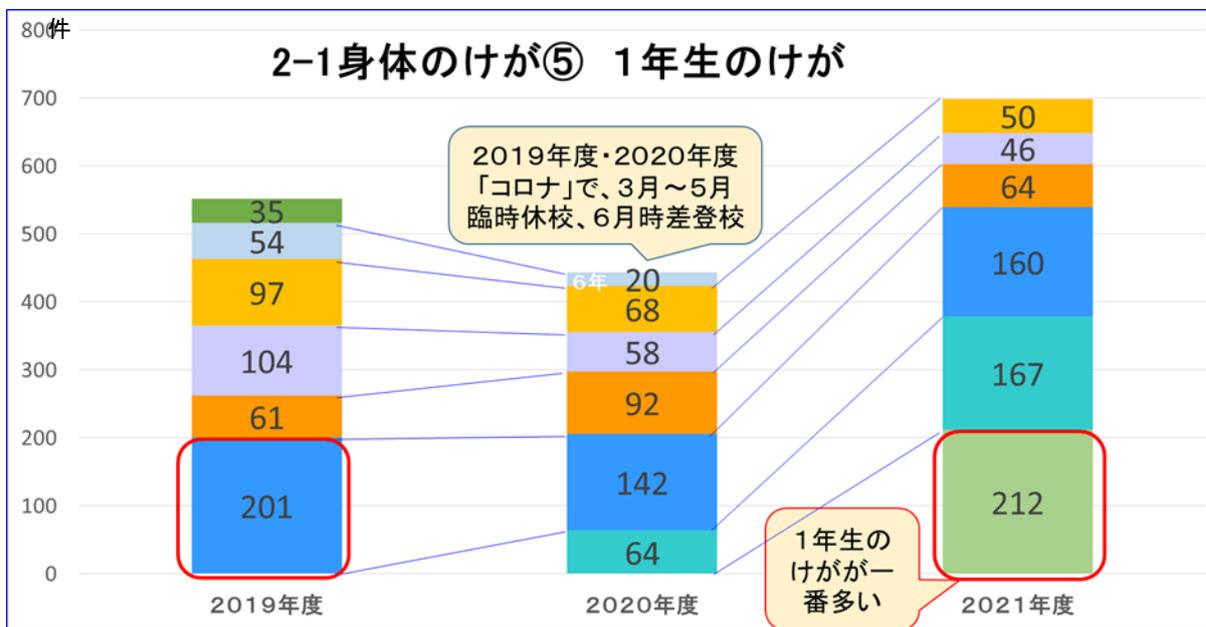
- ・ 休憩時間では、校庭、教室、廊下の順でけがが多いです。
- ・ けがの記録から「人とぶつかって」「机を動かすときに指を挟んだ」との記述がありました。

【校庭での原因別けがの発生件数（2019年度～2021年度）】



- ・校庭でのけがは、「転倒」が一番多く、次いで人とぶつかるなどの「人的接触」になっています。
- ・近年、児童の増加により一人当たりの校庭面積が狭くなっていることから「人的接触」「飛来物」によるけがの発生が顕著になっています。

【学年別けがの発生件数（2019年度～2021年度）】

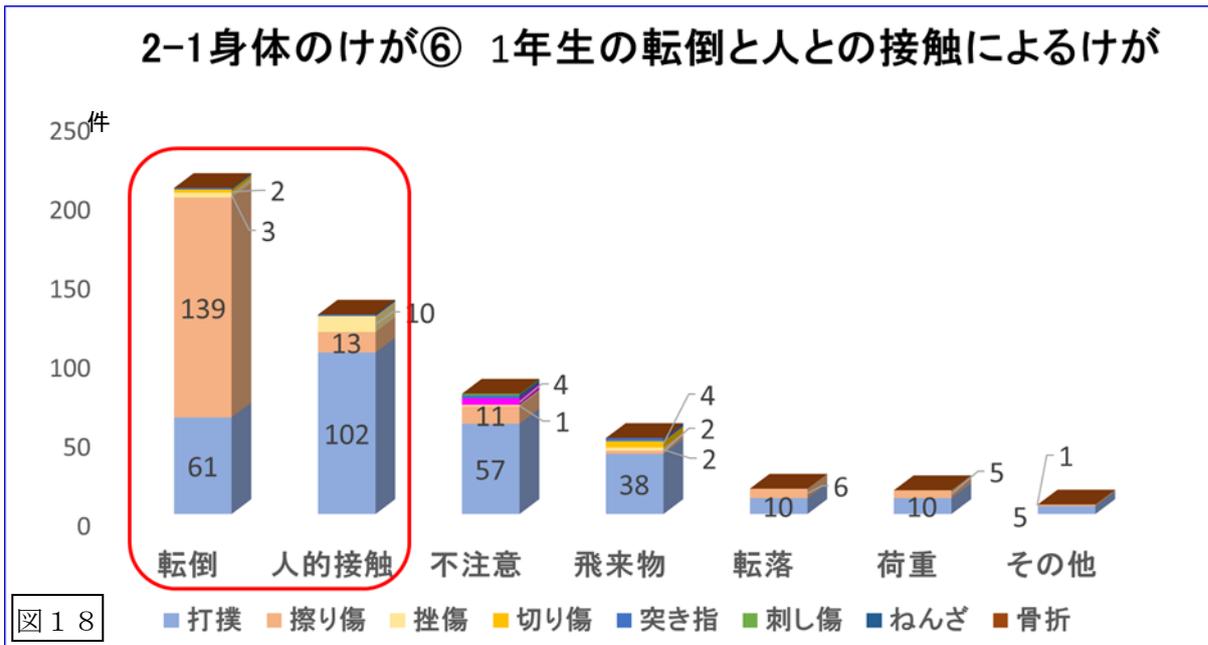


- ・学年が上がるにつれてけがの件数は減少しています。
- ・1年生が他の学年に比べ、けがの件数が多く、6年生と比べると4倍以上になっています。



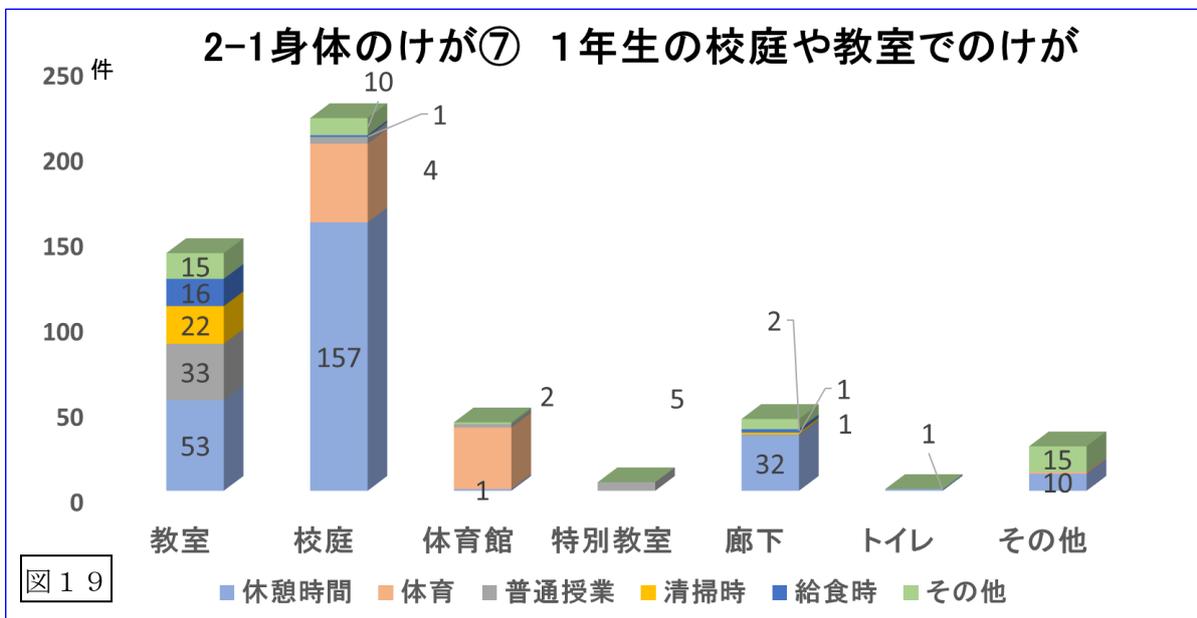
1年生のけがの原因と症状を検証してみると

【1年生のけがの原因と症状（2019年度～2021年度）】



- ・「転倒」によるけがが最も多く、症状は「擦り傷」「打撲」と続きます。
- ・「人的接触」によるけがの多くは、休み時間に集中し、鬼ごっこ等の遊びの中で発生しています。

【1年生のけがの発生場所・場面の状況（2019年度～2021年度）】



- ・「校庭」が最も多く、休憩時間に多く発生しています。休憩時間は、教室や廊下でもけがが起こりやすいことが分かります。

(2) いじめによる心のけが（「生活のふり返りアンケート」より）

いじめは、いったん被害にあうと、身体的・心理的に深刻な苦痛を受け、簡単に修復できないものと捉え、本校においても「心のけが」と考えます。そのため、未然防止、早期発見、早期対応に努めています。

本校では、いじめを防止するために年に3回（6月、11月、2月）、全校児童を対象に生活のふり返りアンケートを実施し、実態の把握に努めています。その結果を受け、管理職、生活指導主任、学年主任を中心としたいじめ対策委員会を開き、いじめる側の児童には毅然とした指導、いじめられた側の児童には寄り添う支援を行っています。さらに、いじめの初期段階から保護者への説明及び解消に向けた対応等の協力をお願いするとともに、いじめの解消後も、児童の様子をしっかりと見ながら、二度といじめが起きないように学校組織全体で再発防止に努めています。

がっこうせいかつ
よりよい学校生活のために

1学期も半ばをすぎました。新しい学年、学級では友達がたくさんできたでしょうか。これからも楽しい学校生活を送ることができるようにするために、今の学年になって、4月からの学校生活をふり返りましょう。

れん 年 くみ 組 なまえ

今の学年になって、4月からの学校生活を、ふりかえりましょう。

① 学校は、楽しいですか。 (舌の「はいがいいえ」に、○をつけてください)	はい	いいえ
② 4月から、自分が「がんばったこと」や「できるようになったこと」、「楽しかったこと」があったら、書きましょう。		
③ 今の学年になってから、学校で友達に「いやだな」と思ったことや「なおしてほしいな」と思うことがあったら、書きましょう。		

アンケートは、これで終わります。

図20 【生活のふり返りアンケート】

・記述があった児童の件数を「いじめ」としています。担任は、記述のあった児童から聞き取りを行います。スクールカウンセラーや専科教諭、管理職がかかわることもあります。

【いじめや暴力の発生件数（2020年度～2021年度）】

2-3心のけが① いじめや暴力の発生件数

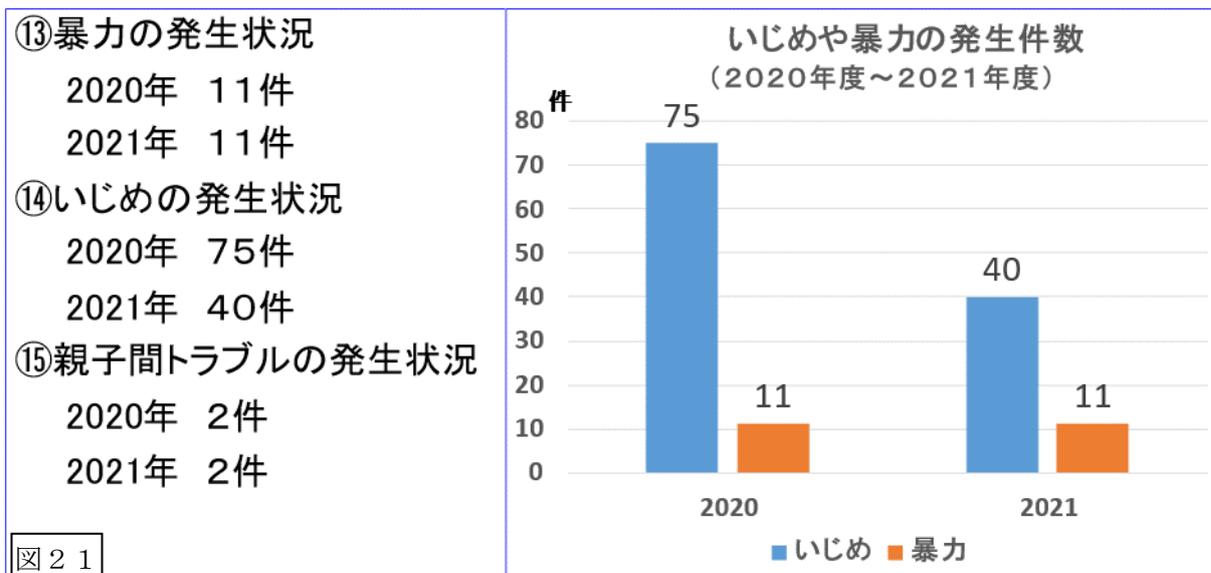


図21

・すぐに解決に至らない内容の場合は、「いじめ対策委員会」で対応を話し合います。その結果、すぐに解決できた場合と何日もかかりましたが、解決した場合があります。

【学年別のいじめ認知件数】

2-3心のケガ② 学年別のいじめや暴力件数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2020年	10	23	14	14	23	2
2021年	14	6	8	10	8	5

図 2 2 1年生のいじめの訴え件数が増加傾向にある。

- ・ いじめの認知件数では、1年生と6年生が前年度から増加し、他の学年は減少しています。
- ・ 2021年度は51件で、前年度の86件から35件と大幅に減少しています。



全国的にいじめの低学年化が顕著であり、高南小学校でも同様な傾向が見られます。いじめの内容については以下の表によってなっています。

2-3心のケガ③ 1年生の訴えの内容

2021年 1年生のいじめ	内容
①悪口	5件
②嫌なことをされる	5件
③軽くぶつかる、叩く等	3件
④仲間はずれ	1件

長期継続案件は無し

図 2 3 低学年の突発的な悪口や暴力などが多い

3 校外のけが

(1) 学区域内の児童の自転車事故の発生件数

2019年度から2021年度の3年間に学区域内における高南小学校児童の交通事故は1件です。後ろから来た車との接触事故でした。

表 3-2 最近3年間の発生状況（「豊島区教育委員会報告データ」より）

	2019年度	2020年度	2021年度
件数	1	0	0
状況	自動車との接触事故	0	0

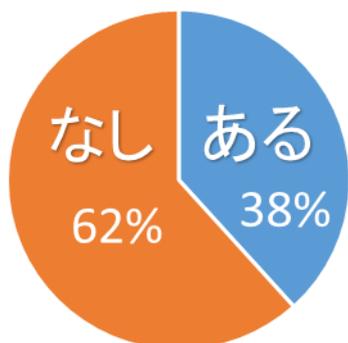
(2) ヒヤリ・ハット体験

2022年6月に全学年を対象として、今年の4月から児童が体験した交通事故などによるヒヤリ・ハット体験について調査を行いました。



【交通事故のヒヤリハットの経験があった割合】

学区域を歩いているときヒヤリ、ハットしたこと



・危険を感じた経験がある児童は、38%で全校児童454人中174人になります。
一方、62%の児童280人は危険を感じた経験がないと答えています。

高南小学校の学区には、東京さくらトラム（都電荒川線）が通学路を横切っています。児童が登下校する際に、都電「学習院下」の踏切を渡ります。その踏切が危険を感じる場所の一つとなっています。

【通学路のヒヤリハット】

登下校中でのヒヤリハット体験

(ISS地域対策委員会委員の発言より)

都電「学習院下」の踏切では、踏切が閉まっている際の車や歩行者の動きに、危険を感じる人が多い。



図 2 6

人為的な交通事故や都電等におけるヒヤリハットの他に、自然災害によるヒヤリハットも高南小学校の学区にはあります。学校が急な坂の下に位置しているため、校舎裏手は崖になっており東京都土砂災害警戒区域に指定されています。また、学区には神田川も流れており、大雨により神田川の洪水被害も発生する場所になっています。

【学区における自然災害】



図 2 7

【自然災害 豊島区洪水・内水ハザードマップ】



図 2 8

	床下(棟数)	床上(棟数)
1989年	21	0
1991年	35	0
1993年	84	2
1994年	11	0
1999年	1	31
2000年	4	13
2011年	3	3
2013年	0	1
2018年	0	1
計	159	51

「東京都建設局市区町村別水害データ」より

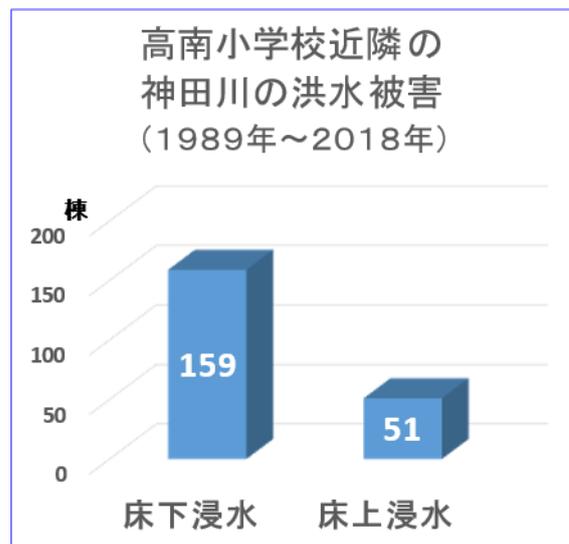


図 2 9

(3) 暴力、虐待によるけが

暴力的行為や虐待の疑いがある場合、緊急に関係諸機関(東京都児童相談センター、子供権利グループ、豊島区教育委員会、警察等)と連携し対応します。本校では、いくつかの家庭と情報交換を行い、見守りを続けていますが、けがの発生状況はほとんどありません。

第4章 けがの発生状況に基づく予防対象の設定

校内及び校外におけるけがの発生状況を踏まえて、予防対象を設定し、予防活動を行います。

指標 3～5 カテゴリー分け	1 学校の指導体制 2 良好な人間関係作り 3 地域・保護者との連携 4 児童の危険予測回避能力の育成 5 環境改善 6 ハイリスクへの対応
-------------------	---

けがの発生状況		予 防 対 象	カテゴリー
学 校 内	○休み時間の教室内のけがが多い。 2021年 65件	休み時間の教室のけが	2・4・5・6
	○1年生が教室や教室前の廊下でのけがをすることが多い。 (1人当たりのけがも多い) 2021年1人当たり3.7件	1年生のけが	1・2・4・6
	○校庭で、休み時間に、ぶつかってけがをすることが多い。 2021年 311件	校庭のけが	1・2・4・5
校 外	○踏切や細い道でのヒヤリハットが多い。 ※38%の児童が学区域で交通事故に関するヒヤリハット経験がある。 ・自転車が関わる場面が多い。 ・学区域に細い道や坂が多い。 ・学区域内に踏切がある。	学区域の特徴に起因する交通事故	3・4・6
	○学区域内に神田川が流れている。 ○土砂災害警戒区域が隣接している。	自然災害 ・水害 ・地震	3・4・6
心的側面	○低学年において、いじめ認知件数が多い ○家庭における暴力・虐待がある。	心のけが	2・6

図 30

第5章 8つの指標に基づいた取組

指標1 協働を基盤に安全向上に取り組む運営基盤が整備されている

1 インターナショナルセーフスクールの推進組織

本校は、豊島区セーフコミュニティ推進協議会の学校の安全対策委員会と地域対策委員会に所属し、協働を基盤に問題解決の体制を整え、安全向上に取り組んでいます。行政機関、各町会、育成・民生委員の方々、地域の方々、PTAなど、児童の交通事故の防止や不審者対応などの防犯を目指すISS地域対策委員会、教員組織からなるISS推進組織があります。こうしたバックアップを受け、児童会が活動しています。

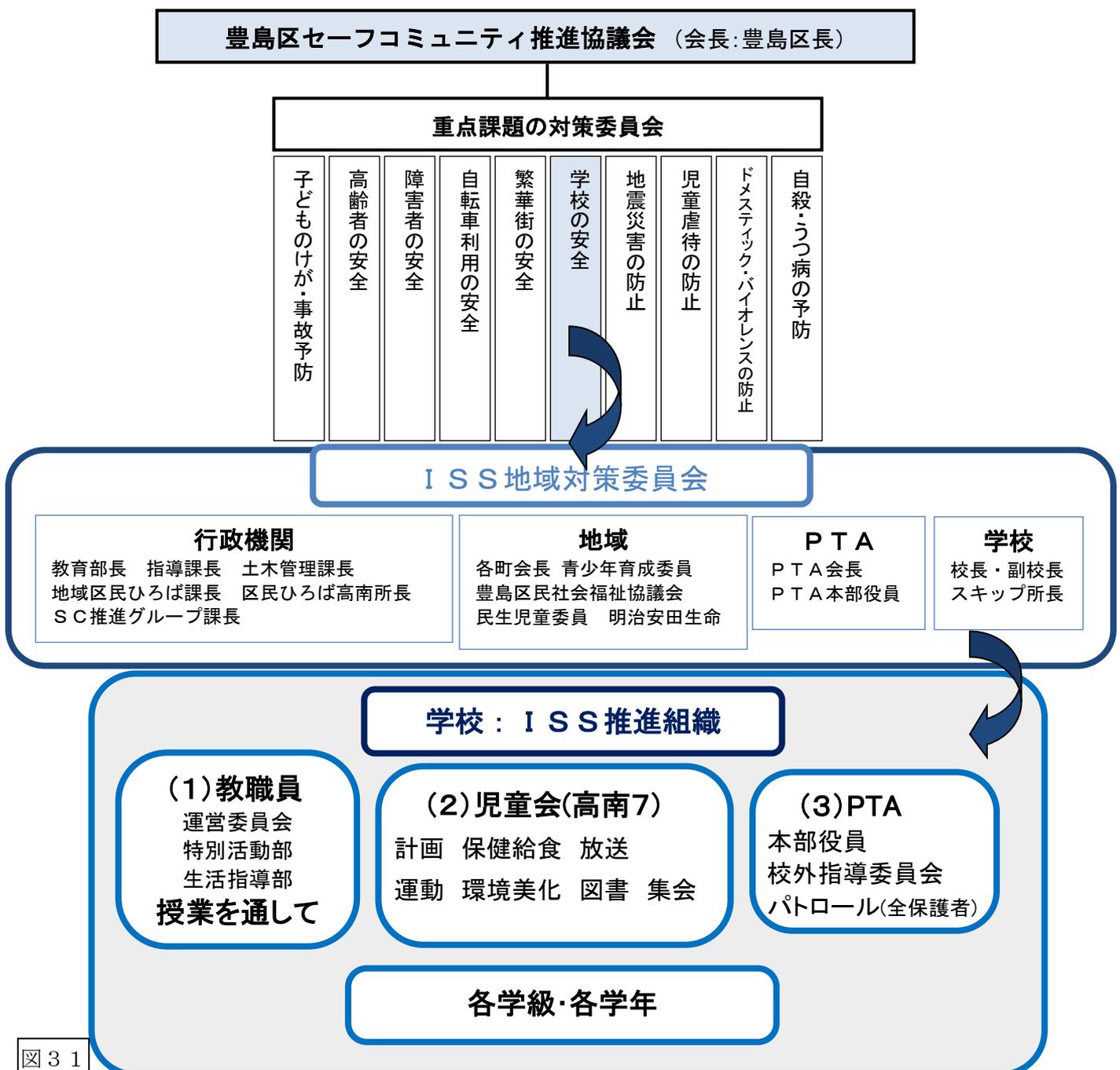


図31

2 地域対策委員会

セーフスクールの地域推進役となる地域対策委員会は、町会長代表者を委員長とし、高田地区4町会、民生児童委員、青少年育成委員、区民ひろば高南、PTA役員、豊島区教育委員会、社会福祉協議会で構成しています。学期毎の開催を原則とし、学校や地域の取組の報告や課題について情報共有・意見交換をしています。

表5-1 【ISS地域対策会議の開催一覧】

	開催日	内容
2019年度	5月16日	ISS地域対策会議 学校運営連絡協議会
	7月28日	親子健康ウォーク
	7月30日	ISS研修会
2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
2021年度	6月1日	ISS地域対策会議
	2月20日	学校運営連絡協議会

(1) 高田地区4町会

高田1丁目町会、坂下睦会、東目白自治会、高田中央町会、高田3丁目町会が高南小学校のISS活動をサポートしています。

2017年度から、消防訓練・地域合同防災訓練・ラジオ体操・お祭り・区民ひろばまつり・夜警・ラジオ体操等、様々な活動を行ってきました。2019年度から感染症の影響により活動は縮小されましたが、2022年度から活動を再開しています。



図32 <地域防災訓練の様子>

(2) 区民ひろば高南

「区民ひろば高南」は誰でも利用できる施設で、小学校区を単位とした地域コミュニティの拠点となり、世代を超えた交流の場となっています。地域の特性を生かした様々な事業、イベントを企画、実施しています。中でも、学校の校庭を利用して開催する「ひろばまつり」には、高南小学校の児童だけでなく、地域、PTAの方々も大勢参加し、交流の場となっています。

2019年度9月を最後に、感染症対策等により実施が見送られていましたが、今年度9月に「区民ひろば高南」を再開する予定です。



図33

(3) 民生児童委員

「すまいる」活動を展開中です。高南小の全校児童の応援団として、学校行事にもたくさんの方が参観しています。

(4) 社会福祉協議会

「区民ミーティング」を開催。第2回目は「地域の子供を地域で守り育てる」でした。学校からも校長が参加し、地域の皆さんと話し合いを行いました。

3 校内のISS推進のための組織（教員組織と児童の組織、PTAの組織）

ISSに関する活動を推進するために分掌毎に活動内容を確認して取り組んでいます。月に1回、運営委員会の中で進捗状況や課題・成果等について話し合い、情報共有を図っています。PTAとは、学期に1回のPTA運営委員会が、同様の役割を果たしています。

(1) 教職員組織

① 運営委員会

管理職、教務主任、生活指導主任、研究推進主任、特別活動主任、保健主任が構成メンバーです。ただし、内容により担当者が加わります。

② 生活指導部

- ・安全指導計画、防災計画、避難訓練年間指導計画等を作成します。達成状況を検証し、学校の実態に即した内容に改善しています。
- ・収集した保健室のデータの分析・考察を行い、情報を発信します。また、生活指導夕会で課題の共通理解を図っています。

③ 特別活動部

- ・児童の主体的な活動の推進及び支援をします。高南セブン（委員会活動）、学級活動で児童が安全・安心な学校の実現に向け、目的意識を持って活動できるよう計画しています。

(2) 児童会組織

高南セブンとは、5年生以上の全児童が下記の7つの委員会のいずれかに所属し、月に1回、45分の活動を行うものです。そして、各委員会の委員長が出席する会議体を代表委員会といい、ISS活動の取組を計画・決定したり、ISS活動の推進状況を報告したりします。

表 5-2【高南セブン（委員会活動）】

計画委員会	自治的な活動、学校行事に関わる活動の中心となり、「安全・安心」の視点を持って、全校児童にISS活動の推進状況などを知らせる役目を担っています。
保健給食委員会	校内でおきたけがの分析を児童の目線で行い、その結果を全校に周知し、安全を呼びかけています。健康な体作りの基盤となる活動を行っています。
運動委員会	校庭での遊びのルールを考えたり、遊具の準備、片付けを行ったりしています。安全に遊んでいるか、困ったことはおきていないか、校庭や校内のパトロールも行っています。
環境美化委員会	校内の植物栽培や、校内のゴミ問題を考えています。持続開発可能な社会を創る活動につながることを全校に呼びかけています。
図書委員会	学校図書館の活用を推進しています。心と体の健康・安全に関する図書コーナーを設けたり、差別意識を持たないための啓発的な本の読み聞かせを行ったりしています。
集会委員会	全校児童が取り組める楽しい集會を企画、実施しています。ISSクイズ集會では、安全に関する知識を楽しく学べるように考えました。
放送委員会	お昼の放送では、日常的な放送の他に、週毎の生活目標を一人一人がコメントを考えながら呼びかける活動を続けています。

(3) PTA

本部役員と校外指導委員会がISSに関わる活動を行います。放課後パトロール、子ども110番の家の把握、お祭りの時のパトロールも行います。

指標2 セーフスクール推進組織とセーフコミュニティに基づいた地域の推進協議会によって決定されたセーフスクールの政策がある

1 豊島区立高南小学校の方針

(1) 学校経営の基本的な考え方

本校では、「豊島区教育ビジョン2019」に基づき、「子供に学びがい、教師に教えがい、学校に元気を」を合い言葉にし、「豊島の子七か条」「豊島教員ミニマム」の実践、実現に向けて教育活動を実施しています。また、「いじめの根絶・体罰によらない学校宣言」等を踏まえ、人権尊重の精神を基盤とした教育を進め、地域、保護者との信頼関係を築き、教育のプロとしての誇りをもって、仕事に取り組む職員集団をめざします。以下は、2019年の重点目標です。

豊島区教育ビジョン2019【目指す子ども像】
過去に学び、現在を生き抜き、夢と志を持って歩むとしまの子

豊島区立高南小学校 教育目標
キラキラ輝く知性 わくわく高鳴る感性 豊かな思いに夢ちゅうっ子

(2) 児童会活動のスローガン

みんななかよし みんなえがお 安全・安心 高南小学校

2017年6月にISSの取組の中心となる、計画委員会と各委員会の委員長である高南セブンがどんな取組を行っていきたいか、話し合いを行いました。

ISSの意義や目的について、校長から説明を受けた後、スローガンやシンボルマークを 決めて取り組んでいくことになりました。

現在では、高南セブンが中心となりそれぞれの委員会で自分たちに取り組みそうなことを考え、実行に移しています。



【まもっち】

(3) PTAによる安全な学校づくりに関する方針

保護者は、PTA本部役員を中心に学校と連携を図り、セーフスクールの取組を理解し、以前からの活動をさらに充実させ取り組んでいます。

- ・春と秋の交通安全運動での登校指導
- ・旗振り運動校門での児童を迎えるあいさつ運動
- ・自転車安全教室での手伝い
- ・放課後のパトロール
- ・各学年のISS活動啓発 等

2 豊島区の政策

豊島区では、「安全・安心」を政策の基盤とし、「自治の推進に関する基本条例」に、「セーフコミュニティ」と「地域区民ひろば」を位置付け、参加と協働のまちづくりを進めています。

(1) 「豊島区セーフコミュニティ推進協議会」の設置 (2010年5月～)

(2) 「豊島区教育ビジョン2019」 安全で安心な学校を目指す

- ・豊かな心の育成【基本方針3】
- ・健やかな体の育成【基本方針4】

指標3 両性、全年齢、環境、状況をカバーする長期的かつ継続的なプログラムを実施して

1 学校の指導体制

凡例 ①対象者×場所 ②概要 ③実施

1-1 校内の校務分掌組織内における安全指導に関わる事項の見直し

①	児童×校舎内外
②	生活指導主任、清掃担当教諭、食育担当教諭が、それぞれ、「遊びのルール」「清掃スタンダード」「給食スタンダード」を作成し、休み時間、教師の目の届かない時間帯のけがのリスクを抑えられるようにしています。
③	児童・教職員

1-2 1週間単位でのけがの発生データの共有(生活指導夕会)

①	教員×校舎内外
②	毎週木曜日の16:20から15分間、生活指導主任が中心となり、児童のけがの発生状況や生活指導上の問題点を、情報交換します。養護教諭から示されたデータや状況から予防対策を考え、学級指導や児童会の活動に発展します。
③	児童・教員



1-3 安全指導日

①	児童×通学路・学区域
②	月1回、学級担任が、校外での交通に関するルールについて指導します。年間指導計画のもとに登下校、自転車、雨の日・雪の日の歩行、自動車等のテーマで進めています。
③	教員

1-4 救急法講習会

①	教員×校舎内外・通学路・学区域
②	毎年、水泳指導が始まる前に消防署の方に来校していただき、救命救急法の実技講習を受講しています。
③	消防署

1-5 着衣泳

①	教員・児童×校舎外
②	毎年、発達段階に応じて、水の事故を防止するため、着衣で水に落ちたときの対処法を学んでいます。ペットボトルの使い方やライフジャケットの正しい着用方法も学びます。
③	教員



2-5 図書委員会児童による読み聞かせ	
①	児童×校舎内外
②	図書委員児童が中休みや昼休みに学校図書館で読み聞かせを行います。読み聞かせを通し、児童相互の心がつながる時間としています。ISS関連の本も、低学年向けに読み聞かせしています。
③	児童(図書委員会)・教員



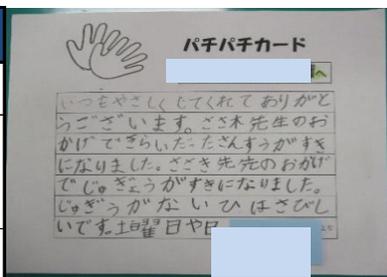
2-6 ユニセフ募金活動	
①	児童・教員・保護者×校舎内
②	毎年、計画委員会を中心に、ユニセフについて児童集会で説明をし、全校に呼びかけて募金活動を行っています。
③	児童(計画委員会)



2-7 学級活動で行う良好な人間関係作り	
①	児童・教員×校舎内
②	学級活動の時間を利用して、「ことばのプレゼント」「あいさつの木」「友だちがいてよかったな」等の活動を行っています。成果を掲示して見える化も図ります。
③	児童・教員



2-8 パチパチカード	
①	児童・教員×校舎内
②	運動会や音楽会などの学校行事でのあと、児童同士、児童から先生へ、先生から児童へ、たくさんのメッセージのやりとりが行われます。
③	児童・教員



2-9 車いすバスケットボール	
①	児童×校舎内外
②	オリパラ教育が始まる以前から、毎年、現在も競技を楽しんでいる、選手に教えていただいています。4年生、5年生が対象の授業です。楽しいだけでなく、いろいろ考えることにつながる学習です。
③	4年生、5年生



2-10 介助犬交流授業	
①	児童×校舎内
②	こちらも、毎年3年が取り組んでいます。介助犬フレーザー君、そして代替わりしたダンテ君とふれあい、そのユーザーさんから直にお話を伺います。
③	3年生



2-11 義足体験授業	
①	児童×校舎内
②	2017年、初めて取り組みました。この授業をきっかけに、様々な障害を調べる活動につながりました。体験後、ボランティア活動に発展した児童も多数います。
③	5年生



3 地域・保護者との連携

3-1 ISS地域対策会議	
①	町会長等学校運営連絡協議会委員×校舎内外・通学路・学区
②	地域の方と学校が、互いの立場から安全安心な学校、地域づくりのためにできること、すべきことを話し合い、実施する内容の決定や実践状況等の報告をしています。
③	教員・地域



3-2 ふれあいタイム	
①	児童・保護者・地域×校舎内外
②	地域の方々との交流を深め、児童に地域の方々に対する感謝の気持ちを高めさせるとともに、互いの顔を覚えることで、児童と地域の方との関係を深めています。現在は、新型コロナウイルス感染症拡大により実施を控えています。
③	児童・教員



3-3 地域行事への参加	
①	児童・教員・地域・保護者×通学路・学区
②	地域のおまつりに参加することで、地域の方に学校の教育活動を理解していただく機会とするとともに、地域と児童の深いつながりをつくる機会となっています。
③	児童・教員・保護者・地域



3-4 学校・保護者・地域の協力による自転車安全教室	
①	児童・保護者・地域×通学路・学区
②	交通安全への意識を高め、自転車による事故防止を目指して、開催しています。教育課程に位置づけ、警察、交通安全協会、学校が共催し、3. 4年生で実施しています。登下校の見守りは、地域の方のご協力をいただいています。
③	学校・保護者・地域・警察署・東京都自転車商防犯協力会



3-5 民生委員による「すまいる活動」	
①	児童・保護者×学区
②	民生委員の担当の方がこの地域を歩くときには、このすまいるカードをつけて歩いていただきます。児童は、このカードを持っている人には安心して声をかけることができます。
③	地域・民生委員



3-6 PTAによる安全マップ作成と放課後パトロール	
①	児童・保護者×学区
②	自主的にPTA放課後パトロールを行っています。そこで明らかになった危険箇所を、学校の玄関に表示しています。「自分たちの身は自分たちで守る」を合言葉に、児童へ危険箇所を知らせ注意喚起しています。
③	保護者



3-7 PTAスクールガードリーダー	
①	児童・保護者×通学路・学区
②	PTA本部役員と校外指導部員が目白警察の方と共に学区を実際に歩き、交通安全、防犯、両方の視点から点検確認を行い、心配な点を関係機関と共に改善していきます。
③	保護者・目白警察



3-8 広報誌「めざせセーフスクール高南小」の発行	
①	地域・保護者・児童・教員×校舎内外・通学路・学区
②	インターナショナルセーフスクール認証を目指す取組を紹介した広報紙を、地域対策委員会から発行しています。児童会の活発な取組や保護者・地域の方の応援の声も、幅広い年齢層の方にも読んでいただけるよう、分かりやすく発信しています。
③	ISS推進委員会(教員)

3-9 交通指導員(シルバー)による登下校の安全確保	
①	児童×通学路
②	3名の指導員が、登下校時での交通事故・事件・災害を防止するため、通学路の安全誘導を行っています。
③	交通指導員・学校・保護者



4 児童の危険予測回避能力の育成

4-1 うれしかなしメーター

①	児童・教員×校舎内
②	2017年、6年児童が発案。「かなしい気持ちを乗り越える心の大切さについて考えたい」という意見からスタートしました。この活動を通して子供たちの中にはいろいろな気づきが生まれています。
③	児童・教員



4-2 児童による児童ISS集会

①	児童×校舎内
②	計画委員会児童が校長や副校長、委員会担当教諭からISS活動の目的やめざす児童像について聞き取りを行い、それを全校に伝える広報役として、行いました。集会委員会児童は更に充実した取組になるように考えた集会を行っています。
③	児童・計画委員会・集会委員会・教員



4-3 児童による呼びかけ活動

①	児童×校舎内
②	放送委員会ではお昼の放送で、週の目標、例えば「しっかり挨拶をしよう」「廊下は右側を歩こう」に対する意欲向上を図るため、自分なりに考えたコメントを付けて呼びかけを行っています。
③	児童・放送委員会



4-4 児童による安全マップづくり

①	児童・教員×通学路・学区域
②	3年生がグループ毎に、学区域の安全マップを作ります。「入りやすい場所、見えにくい場所」がキーワードです。危険な場所をまとめ、全校に向けて発表し、各教室に作成した地図を掲示していきます。
③	児童・3年児童・教員・保護者



4-5 児童によるけがデータの発信

①	児童×校舎内外
②	けがをした児童が、保健室前に掲示された校舎内外の地図上にシールを貼ります。学年ごとに色分けされたデータが蓄積されけがの発生状況が分かります。学期ごとにデータを蓄積します。毎日のけがの数をボードで知らせています。
③	児童(保健委員会)・教員



4-6 セーフティ教室	
①	児童・教員・保護者・地域×校舎内外・通学路・学区域
②	毎年1回、学校公開日に警察の方や情報教育の専門家を招き、非行防止や犯罪被害に遭わないための指導を行っています。
③	児童・教員・警察署・専門家等



4-7 安全指導(再掲)	
①	児童×校舎内外・通学路・学区域
②	月1回の安全指導日では計画に沿って、学年の発達段階にあわせて指導を行っています。実態に即して行えるよう、常に見直しを行っています。児童自らが課題をもてるよう、導入の資料の内容、提示の仕方を工夫しています。例えば、「学校での安全菜過ぎ方」について学ばせようと思った時には、危険な場所になりそうな所の写真を見せながら、なぜ「危険なのか」を考えさせます。
③	児童・教員

4-8 避難訓練	
①	児童×校舎内外・通学路・学区域
②	年間指導計画に基づき、月1回実施しています。真剣に取り組む児童の様子に豊島消防署の方も驚いていました。
③	児童・教員



4-9 学校・保護者・地域の協力による自転車安全教室(再掲)	
①	児童・保護者・地域×通学路・学区域
②	交通安全への意識を高め、自転車による事故防止を目指して、開催しています。教育課程に位置づけ、警察、交通安全協会、学校が共催し、3. 4年生で実施しています。登下校の見守りは、地域の方のご協力をいただいています。
③	学校・保護者・地域・警察署・東京都自転車商防犯協力会



4-10 児童による校庭パトロール	
①	児童×校舎外
②	友だちとぶつかってけがをすることが多いので、運動委員会児童が、休み時間のルールが守られているかどうか休み時間の遊び方についてパトロールを行っています。2018年1学期のけがの数は減っています。
③	児童・運動委員会児童・看護当番教員



4-11 児童による本の読み聞かせ	
①	児童×校舎内
②	図書委員会児童が、休み時間、心が温かくなる絵本や、友だちとのかかわりを題材にした絵本を選び、期間を決めて、読み聞かせを行っています。ISSコーナーを図書館に設けています。
③	児童・図書委員会児童



4-12 1年生交通安全教室	
①	1年生児童×通学路・学区
②	毎年4月に、入学当初の1年生が、横断歩道の渡り方や標識の意味などの交通ルールについて警察の方から指導を受けます。実際の通学路を歩き、道路を横断する練習もします。
③	警察署・教員



4-13 新1年生の集団下校(4月から1ヶ月間)	
①	1年生児童×通学路・学区
②	1年生は、入学して1ヶ月間、自分の通学路を覚え、交通ルールを守って安全に下校することができるよう、帰宅方面ごとのコースに分かれ、交通指導員と教員が付き添って集団下校しています。
③	交通指導員・教員(担任・専科)・用務



5 環境改善

5-1 校舎内外施設点検	
①	教員×校舎内外
②	毎月、全教職員が校舎内外施設全ての安全点検を行っています。各担当者が安全点検表にチェックし、危険箇所の早期発見に努めています。学期毎の1回目は、全職員が、一斉に点検し、見落としがないようにしています。
③	学校

5-2 角へのカバー付け、滑りにくい側溝ふた	
①	児童・教員・保護者・地域×校舎内外
②	校庭や校舎内にあるコンクリートの角にはカバーを付け、校庭の側溝のふたを滑りにくいものに交換しました。
③	豊島区・教員



6 ハイリスク対策

6-1 1年生交通安全教室(再掲)

①	1年生児童×通学路・学区
②	毎年4月に、入学当初の1年生が、横断歩道の渡り方や標識の意味などの交通ルールについて警察の方から指導を受けます。実際の通学路を歩き、道路を横断する練習もします。
③	警察署・教員



6-2 児童によるけがデータの発信

①	児童×校舎内外
②	けがをした児童が、保健室前に掲示された校舎内外の地図上にシールを貼ります。学年ごとに色分けされたデータが蓄積されけがの発生状況が分かります。学期ごとにデータを蓄積します。毎日のけがの数をボードで知らせています。
③	児童(保健委員会)・教員



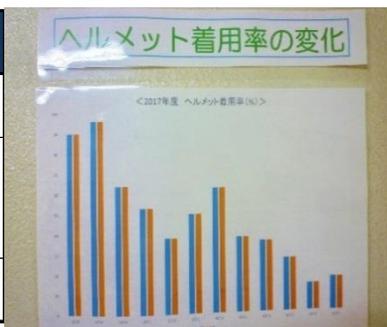
6-3 学校・保護者・地域の協力による自転車安全教室(再掲)

①	児童×通学路・学区
②	交通安全への意識を高め、自転車による事故防止を目指して、開催しています。教育課程に位置づけ、警察、交通安全協会、学校が共催し、3. 4年生で実施しています。登下校の見守りは、地域の方のご協力をいただいています。
③	学校・保護者・地域・警察署・東京都自転車商防犯協会



6-4 自転車用ヘルメット着用数の掲示

①	児童・保護者×通学路・学区
②	ISS認証取得の取り組みを始めてからのヘルメット着用率の変化を、自分たちで確認できるよう、ISSロードに掲示しています。
③	教員



6-5 6年生が1年生の教室に

①	児童×校舎内外
②	給食準備中や清掃時、1年生は不慣れなため、混乱が起きやすいです。6年生は一人対一人でなかよしになり、様々な場面で関わりを持っています。1年生にとっても、6年生にとってもよいことがたくさんあります。
③	児童・教師



6-6 アミーゴ班活動(異年齢縦割り集団活動)(再掲)

①	児童×校舎内外
②	1年生から6年生による縦割り班の活動です。この班には全学年児童が所属し、月に1回、6年生がリーダーになり活動を企画し、全校遠足、遊びや給食での会食を行っています。
③	児童・教員



6-7 遊びのルール

①	児童×校庭
②	校庭でのけがを減らすため、曜日によって遊べる場所を割り振りました。ドッジボールをしているクラスに鬼ごっこをしている人がぶつからないよう、工夫しました。
③	児童・教員

校庭・体育館割り振り表

中・昼休みドッジボールコート割り振り

曜日	月	火	水	木	金	
中	A	2-2	3-1	6-1	6-2	2-1
	B	5-1	5-2	3-2	2-3	4-1
昼	A	5-2	5-1	2年	1-1	1-2
	B	4年	3年	1年	6-1	6-2

※Aコート→体育館側 Bコート→保健室側

中・昼休み 体育館の割り振り

6-8 給食スタンダード(再掲)

①	児童×校舎内外
②	給食準備中や片付けの中でもけが起きていました。手順を確認し、どのクラスでも、だれが指導に入っても、同じようにできるようにスタンダード化しました。
③	児童・教員

高南スタンダード(給食のきまり)

1. 準備

給食当番は

- せついでよく手を洗い、正しい洗い方ですまします。
- 目、鼻、髪、マスクをきちんとつぎましょう。
- 給食は正しい順番にします。
- 目をつけたままトイレには行きません。

そのほかの人は

- せついでよく手を洗い、テーブルクロスをいしてしずかに待ちましょう。

2. 食事中

正しい姿勢で、よくかんで

箸書にだてましょう。

- 箸すばり、箸すばりの正しい姿勢で食べましょう。
- おのちを口に突っ込まないで、まま、音をたて、立ちまわらないでください。

3. あとかたづけ

一人が責任を持って、きれいに片づけます。

- フォーク・スプーン・おはしは 清潔な容器に入れて
- 残った給食は給食の詰めに

6-9 掃除スタンダード(再掲)

①	児童・教員×校舎内外
②	クラスが変わっても、高南小学校の掃除の仕方はみんな同じ。混乱せず、いつも落ち着いて掃除ができるように考えました。環境美か委員会ではこのスタンダードに基づいて、大掃除集会も行いました。
③	児童・教員

高南スタンダード(そうじのきまり)

正しい言葉 そうじは **②** **①** **③**

② は、**だまって**

① は、**いっしょうけんめい**

③ は、**じかんいっぱい**

★教室編

- ①まどを開ける
- ②机・いすを後ろにさげる
- ③ほうきでごみをはく
- ④ぞうきん(座)をかける
- ⑤ごみをとる

6-10 心のけがをなくすための生活の振り返りアンケートの実施

①	児童×校舎内外・通学路・学区域
②	学期に1回、ふりかえります。いやだったことばかりでなく、よかったことも記録します。友だち関係のことを書いた児童に各担任が聞き取りを行い、教育委員会の分類に則って集計報告します。
③	児童・教師

よりよい学校生活のために

3学期が始まりました。これからもっと楽しく学校生活を送ることができるようにするために、今の学年になって、4月からの学校生活を振り返りましょう。

□年 □組 名前 □

今の学年になって、4月からの学校生活を、ふりかえりましょう。

① 4月から がんばったこと、できるようになったことを書きましょう。

② 仲よくしてくれる友だち、親切にしてくれる友だちは いますか。

はい いろいろ

6-11 学級指導の中で育てる人間関係(再掲)	
①	児童・教員×校舎内
②	学級活動に時間に、人間関係作りに結びつく指導を行っています。「言葉の贈り物」「あいさつの木」「ともだちがいてよかったな」など、実践が増えつつあります。
③	児童・教員



6-12 うれしかなしメーター(再掲)	
①	児童・教員×校舎内
②	2017年、6年児童が発案。「かなしい気持ちを乗り越える心の大切さについて考えたい」という意見からスタートしました。この活動を通して子供たちの中にはいろいろな気づきが生まれています。
③	児童・教員



6-13 子供も教師も一緒になって取り組む学校行事	
①	児童・教員×校舎内外
②	音楽や運動会など、様々な学校行事の中で、児童だけが行うのではなく、教師も一緒に取り組む場面を増やしています。楽しさが増したり、達成感を一緒に味わえたり。信頼感が高まります。
③	児童・教員



6-14 いじめ防止委員会	
①	児童・教員×校舎内外
②	いじめの未然防止、早期発見、早期対応のため、定期的にいじめ防止委員会を開催しています。管理職、特別支援教育コーディネーター、教務主任、生活指導主任で月に1回開きます。事案があるときは該当児担任が参加し、開きます。
③	児童・教員

6-15 SNS高南ルールの策定	
①	児童・保護者×校舎内外・通学路・学区域
②	よい人間関係を築くため、近年の社会的な状況を考えると、学校から家庭に「携帯電話・スマートフォンとの上手な関わり方について」情報発信することでいじめの未然防止につながると考えている。
③	教員

6-16 土砂災害を想定した避難訓練の実施	
①	児童×校舎内外
②	東京都作成のハザードマップに掲載されている、「土砂災害警戒区域」に隣接していることを受け、大雨が降り続けている、という想定で、集団下校訓練と近隣学校への緊急避難訓練を行っています。
③	児童・教員



指標4 ハイリスクの人と環境を対象としたプログラムを実施している

高南小学校の学区域は、東京都のハザードマップでも土砂災害警戒区域に指定されており、全校児童にとってリスクの高い環境となっています。一方で、いじめも「心のけが」として、子供の生命や心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を及ぼすものとしてリスクの高い問題となっています。これらの問題を未然に防ぐことができるよう、具体的な取組を実施しています。

1 新1年生のために～1年生プロジェクト～

(1) 1年生対象の交通安全教室

入学直後、目白警察署の方による交通安全教室を実施します。学区域にある危険な場所や登下校の際の道路の歩き方について教えていただき、その後1ヶ月間は、担任や専科教員と集団下校し、自分の通学路を覚えます。保護者、地域の方々の協力もあり、大きな事故なく、安全に登校することができています。



図34 <警察官から指導を受ける1年生>

(2) 6年生による1対1対応の1年生プロジェクト

学校生活が不慣れな1年生のために、休み時間の遊び方や休み時間の過ごし方等を教える「1年生プロジェクト」。6年生は、給食の配膳や掃除の仕方も教室に入り、1年生と一緒に活動しています。



図35

2 心のけがに対する取組

(1) 学校生活アンケートといじめ実態調査によるいじめの早期発見・早期解決

年に3回（6月、11月、2月）学校生活アンケートを実施し、いじめの疑いがあるときには、早期対応・早期解決を図っています。

(2) ふれあい月間（いじめ防止強化月間）の実施

ふれあい月間（6月、11月）を通して、子供のみならず、教職員も「いじめは絶対に許さない」との意識を強く持ち、いじめを許さない学校文化の充実を図りました。2020年と2021年を比較すると、いじめが35件減少する成果につながりました。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
2020年	10	23	14	14	23	2	86
2021年	14	6	8	10	8	5	51

表5-3【学校生活アンケート「いやなこと」の記入があった件数】

3 学区域の状況に対応した防犯・防災・交通安全

(1) 学区域安全マップと民生児童委員の「すまいる」活動

子供たちにヒヤリハットアンケートを実施し、その結果を反映した学区域安全マップを生活指導部の先生方で作成しています。毎月の安全指導での資料として活用し、子供たちの登下校や放課後等の安全・安心の一役になっています。

さらに、この学区域安全マップを活用した高田地区の民生児童委員による「すまいる」活動の取組があります。この活動は、民生児童委員の方々が「地域の子供は地域で守る」との発案から始まり、子供たちの交通安全や学区域の防犯・防災まで見守ってくれています。



図 3 6

(2) 避難訓練の実施とその内容の検討

避難訓練の内容を、年度当初に見直しています。保護者や地域と連携した避難訓練に工夫して取り組んでいます。集団下校の避難訓練や引き渡し避難訓練、不審者対応避難訓練、などがあります。地域の特徴である土砂災害警戒区域高区域としての避難については、避難場所や避難方法など、ISS 地域対策委員会でも話題に挙げ、実施内容の検討を進めています。



図 3 7 〈方面別一斉下校の様子〉



図 3 8 〈引き取り避難訓練の様子〉

指標5 全ての取組は根拠に基づいて行われている

1 課題を導く原因分析（安全診断の実施）

場 所		問 題	取 組	
身 体 的 側 面	学 校 内	問題① 休み時間の教室内のけがが多い。	2-7 学級活動で行う良好な人間関係作り 4-5 6-2 児童によるけがデータの発信 6-7 遊びのルール	
		問題② 1年生が教室や教室前の廊下でけがをすることが多い。	2-3 アミーゴ班活動 6-5 1年生プロジェクト	
	校 舎 外	問題③ 校庭で、休み時間に、ぶつかってけがをすることが多い。	1-2 1週間単位でけがの発生データの共有 4-10 児童による校庭パトロール 6-7 遊びのルール	
	学 校 外	通 学 路	問題④ 踏切や細い道でのヒヤリハットが多い。	3-4 6-3 学校・保護者・地域の協力による 自転車安全教室 3-6 PTAによる放課後パトロール 4-12 1年生交通安全教室
		そ の 他 の 地 域	問題⑤ 神田川及び、崖があり、浸水想定区域・土砂災害警戒区域校区域に指定されている。	6-16 土砂災害を想定した避難訓練

図39

場 所		問 題	取 組
心 的 側 面	学 校 内	問題⑥ 特に低学年において、突発的な悪口や暴力がある。 問題⑦ 集団でのからかいがある。	6-5 1年生プロジェクト 2-7 学級活動で行う良好な関係作り
	学 校 外	問題⑧ 親子間での暴力・暴言についての家庭内トラブルが、一定数ある。	6-10 心のけがをなくすための生活の振り返りアンケートの実施

図40

全教職員が児童にとって安全・安心な学校を目指し、様々な取組みを実施してきました。その取組みの検証をし、学校において未だ危険な場所、けがが起こる時間帯について改めて考えました。

そして、保健室のけがの記録を読み返し、「どんな状況でけがが起きているのか」を調べ、児童をけがから防ぐためには何をすればよいかを中心に全教職員で安全診断を行いました。

原因として分かったことは、児童一人一人の注意不足、気付きにくい危険箇所が学校内外にあること、教職員がいない時間帯にけがの多くが発生していることが分かりました。

そこで、児童一人一人の危険予測の意識を高めること、危険を回避できる能力を育てて行くことを取り組むべき課題と捉え、以下の取組みを実施しました。

2 校内でのけがを無くすための取組

《身体的側面》問題① 休み時間の教室内のけがが多い

取組 4-5・6-2 児童による「けがのきろく」カード記入と「高南けがマップ」の作成

児童がけがをしたときに「けがのきろく」を書きます。カードには、自分のけがの状況を記録するとともに、「どうすれば予防できたか」も考えさせて記録させます。これは、同じ状況の中に置かれた次の機会にけがを予防するためです。児童一人一人が危険を回避する状況判断ができるようにすることがねらいです。

さらに、校庭や校舎内のどこでけがをしたのかを「けがマップ」にシールを貼ることで、けがが起りやすい場所を全校児童に注意喚起をしています。



図 4 1

取組 6-7 遊びのルール

休み時間には、多くの児童が校庭で遊んでいます。鬼ごっこやボール遊びをするなど校庭は遊ぶ児童で混在している状況でした。当然、衝突事故やボールが当たってのけがが発生していました。

生活指導部会でこのようなけがを防ごうと遊ぶ場所の割り振りを行いました。

校庭・体育館割り振り表						
中・昼休みドッジボールコート割り振り						
曜日	月	火	水	木	金	
中	A	2-2	3-1	6-1	6-2	2-1
	B	5-1	5-2	3-2	2-3	4-1
昼	A	5-2	5-1	2年	1-1	1-2
	B	4年	3年	1年	6-1	6-2

※Aコート→体育館側 Bコート→保健室側

中・昼休み体育館割り振り					
曜日	月	火	水	木	金
	6年	1,2年	4年	3年	5年

※晴れの日でも体育館であそべますが、かならず先生といっしょに行きましょう。

《体育館での約束》

- *学年でゆずり合いながら、仲良く遊びましょう。
- *児童だけの体育館遊びはできません。
- *舞台やギャラリイの上には、登りません。
- *どんちようや帯にさわりません。
- *跳び箱やマットの上に乗って遊びません。

図 4 2

【校庭・体育館割り振り表】

《身体的側面》問題② 1年生が教室や教室前の廊下でけがをすることが多い。

取組 2-3 アミーゴ班活動

思いやりの心や規律ある行動の大切さを異学年活動のアミーゴ班を通して育てています。毎年、様々な行事を通して、遊ぶことだけでなく、校外での安全に気を付けることも大切にし、上級生から下級生に、それを伝えていきます。例えば、全校遠足では、アミーゴ班活動を活用して、班での話し合い活動を行います。安全に対する意識を、上級生から下級生に伝える大切な場面の一つです。



図 4 3



図 4 4

取組 6-5 6年生による1年生プロジェクト（※指標4も参照）

学校生活が不慣れな1年生のために、休み時間の遊び方や休み時間の過ごし方等を教える「1年生プロジェクト」を行っています。

【例 休み時間を一緒に過ごす】

6年生は、休み時間に1年生の教室に交代で遊びに行きます。一緒に遊ぶことで、安全に過ごすためにどうしたらよいかを伝えます。



図45

《身体的側面》問題③ 校庭で、休み時間に、ぶつかってけがをすることが多い。

取組 2-3 1週間単位でのけがの発生データの共有

生活指導夕会を、毎週金曜日の放課後に開催しています。校庭や教室での、児童の休み時間の過ごし方の様子を共有し、その原因について話し合い、対策を立てます。

保健室のけがのデータは月1回で集計し、中期的対応に生かす資料とします。



図46

取組 4-10 児童による校庭パトロール

運動委員会児童が中休みと昼休みに自主的なパトロールを行い、遊びに夢中になっている児童に注意喚起をしています。



図47

取組 6-7 遊びのルール ⇒ 問題①「休み時間の教室内のけがが多い」を参照

《身体的側面》問題④ 踏切や細い道でのヒヤリハットが多い。

取組 3-4・6-3 学校・保護者・地域の協力による自転車安全教室

3年生を対象に、自転車安全教室を行います。警察、保護者、地域の自転車協会の方の協力を受け、全員が体験を通して交通安全の意識を高めています。児童が自転車を運ぶ登下校の際は、地域の方が見守りに協力してくれています。



図 4 8

取組 4-1 2 1年生交通安全教室

1年生を対象に、交通安全教室を実施します。入学当初の1年生が、校外での交通安全について、警察の方から学びます。実際に通学路を歩き、横断歩道の渡り方や、安全の箇所を確認する活動も行います。



図 4 9

取組 3-6 PTAによる放課後パトロール

PTAの方が協力して、放課後の子供たちの様子を見守ります。公園等の遊び場所での子供たちの過ごし方について、また、地域の交通や防犯に関して、気づいたことを記録し、学校や地域と共有しています。



図 5 0

《身体的側面》

問題⑤ 神田川及び、崖があり、浸水想定区域・土砂災害警戒区域に指定されている。

取組 6-1 6 土砂災害を想定した避難訓練

台風や大雨による被害から身を守るために、地域の方や保護者と協力して避難訓練を行っています。1年生と4年生では、都からの防災資料も活用し、防災意識を高めています。



図 5 1



《心的側面》 **問題⑥ 特に低学年において、突発的な悪口や暴力がある。**

問題⑦ 集団でのからかいがある。

取組 2-7 学級活動で行う良好な人間関係づくり **取組 6-5 6年生による1年生プロジェクト**

心のけがは、お互いを思いやる気持ちで減らせると考えます。学級活動、道徳、総合的な学習の時間に、人間関係を良好にする様々な取組を行っています。アミーゴ班活動や、1年生プロジェクトを通して、縦割りの関係で学んだことを伝え合うことで、より良好な人間関係が構築できます。

表 5-4 人間関係を良好にする授業実践の例

学年	授業例	その成果
1年	【帰りの会】今日、友達のがんばっていたところやよかったところを見つけ、発表している。	互いのよさを認め合い、仲間意識を育てることにつながっている。
2年	【日常活動】「クラスでできたこと」を学級内で教室に掲示 【帰りの会】今日見付けた友達の良いところ「キラリ」を毎日日直が発表。	皆で協力できたことを価値付ける。協力できたことを喜び合える雰囲気醸成 互いのよさを認め合い、仲間意識を育てることにつながった。
3年	【学級活動】「うれしかなしメーター」を活用し、「よりよいクラスづくりに必要なこと」について話し合った。	自己肯定感や他者理解の心を育てるきっかけになり、その後の学校行事で学年としてまとまりのある取組ができた。
4年	【学級活動】どんな心のけがが多いのかアンケートを実施。そこで分かった問題について各係が取り組みを考えて実行。 例) みつけたよ係・・・陰でよいことをしていた子をみつけた児童が発表し掲示するなど	5年生、6年生がそれぞれ取り組んでいる姿を見ていたので、自分たちのクラスでも取り組めたことが誇らしげに感じる児童もいた。クラスの雰囲気があたたかくなった。
5年	【学級活動】「NGワード・NGアクション」 【国語】「明日をつくるわたしたち」学校生活で気になる問題点を見出し、そのための改善策や提案文をグループごとに考えた。	意識の向上につながった。 良好な人間関係を築くだけでなく、生活安全、交通安全、防災のための環境改善や意識の向上に繋がる場面も多くあった。
6年	【道徳】「言葉のおくりもの」 【帰りの会】「ありがとうカード」を書くありがとう週間を設定して取り組んだ。	お互いのよさを認識するよいきっかけとなった。 お互いが助け合って生活していることに気付かせることができた。



図52 <言葉のおくりもの>

図53 <明日をつくるわたしたち>



図54 <1年生プロジェクト>

《心的側面》問題⑧ 親子間での暴力・暴言についての家庭内トラブルが、一定数ある。

取組6-10 心のけがをなくすための生活の振り返りアンケートの実施

毎学期の当初に「心のアンケート」として、児童の悩みや相談したいことを把握するためのアンケートを実施しています。学校のことはもちろん、家庭の悩みも聞き取ります。全教職員やスクールカウンセラーも合わせて、だれにでも相談できる体制を整え、児童の今の心の状態とその原因を把握できるようにします。

また、必要に応じて豊島区教育委員会や子供権利グループ、都児童相談センター等と連携して対応します。

3 児童の自主的な活動

高南小学校では、「高南セブン」と呼んでいる5年生以上の児童で組織する活動があります。I S Sの再認証取得に向けて、代表委員会でも児童が日頃の生活体験に基づいて様々な取組を行っています。I S Sの再認証取得に向けて、各委員会が取り組んだことをまとめます。

(1) 各委員会が活用した保健室データ

各委員会が様々な活動を考えるときに使っているのは、「児童によるけがのデータの記録」をまとめた以下のデータです。

自分たちの委員会でI S Sについて考えるとき、保健室のデータが大切な根拠になっています。

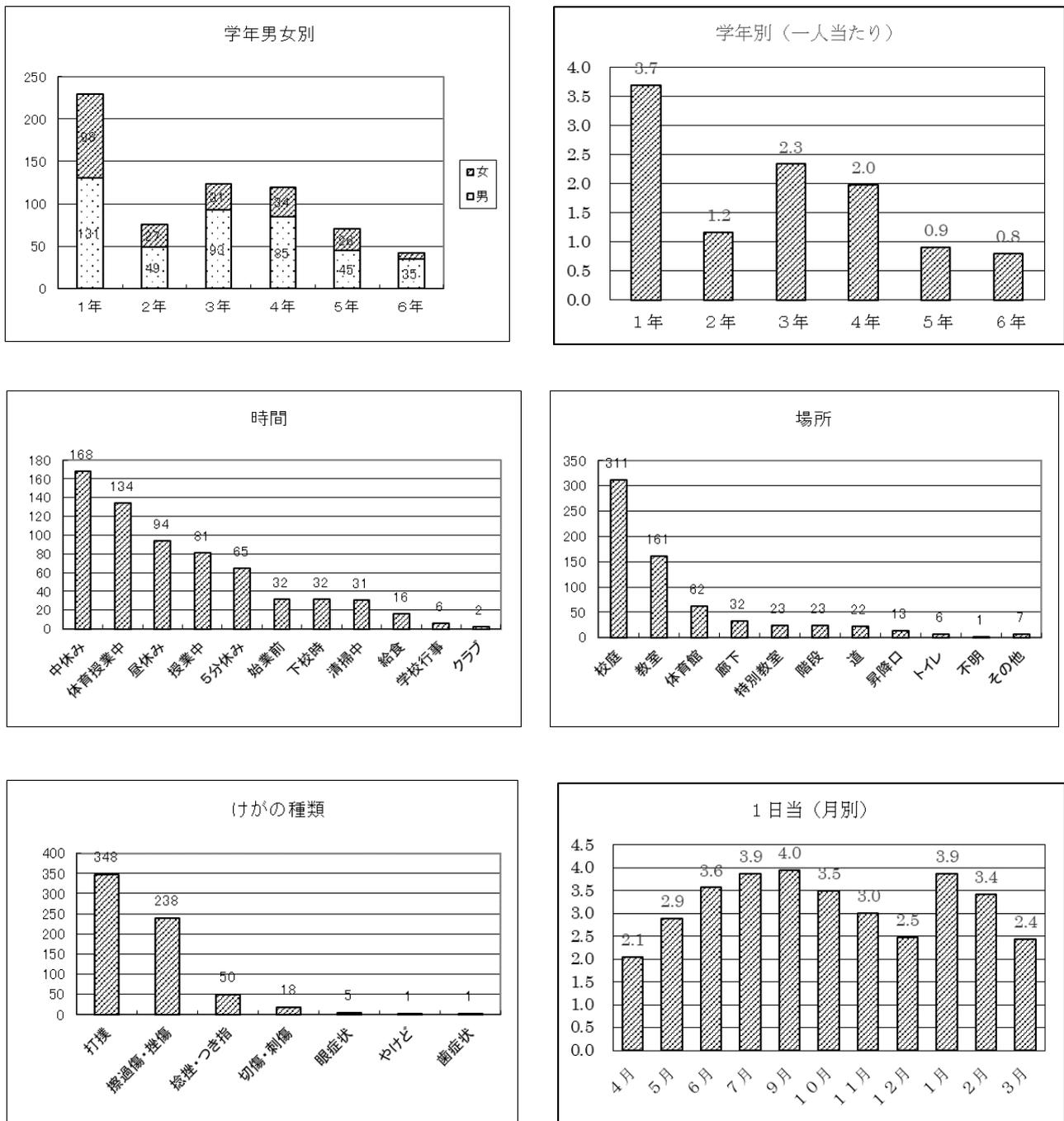


図 5 5

(2) 各委員会の取組

凡例 ①ISSについて考えたこと ②自分たちができること ③実行していること

【計画委員会】

- ①学校行事でも全校児童へ安全・安心を呼びかけよう。
ISSとSDGsの活動は仲間にできそうだね。
- ②高南まつりの注意喚起・パトロール・ポスター掲示
人と人とのつながり（異学年）を意識した活動の提案
- ③高南まつりで、全校児童に廊下歩行の呼びかけ運動
学級・学年・アミーゴ班でつながりを見える化



【ISSのキャラクターとして愛されている「まもっち」】



図56 〈高南まつりをパトロールする様子〉

【集会委員会】

- ①学校生活の安全・安心について、集会を通してみんなに楽しみながら、しっかり考えてもらおう。
- ②ISSに関するクイズ集会の開催
100周年を記念した集会の開催
- ③100周年を記念して、これからの高南小学校も安全
安心に過ごせるように集会を開催
日々の生活で気を付けてほしいことを伝える集会



図57 〈100周年を記念した集会の様子〉

【放送委員会】

- ①お昼の放送や、休み時間終了のアナウンス等を通して学校生活の安全・安心を呼びかけていきたい。
- ②お昼の放送で、生活目標、思いやりの心ついて伝える。
休み時間の放送で、手洗い、廊下歩行について伝える。
他の委員会と協同して、ISSやSDGsに関連する放送を流す。
- ③朝、お昼に週目標の放送と一言コメントの放送。
休み時間の最後に、安全・安心を促すアナウンス。
行事の後に、他学年のいいところを放送で発表。



図58 〈他の委員会と協同して活動する様子〉



図59 〈放送を通して、他学年に良いところを伝えている様子〉

【運動委員会】

- ①校庭や体育館でケガをする子が多いので、私たち運動委員会で、防げるケガは防ぎたい。
- ②校庭・校舎のパトロール、遊び方のルールを周知
- ③校庭の遊び道具の準備や片付け、校庭パトロール、校舎内パトロール（雨天時）、プールの約束

(6) 図書委員会

- ①図書室には安全面について書いてある本や、思いやりの気持ちの大切さについて書いてある本がたくさんあるので、そういった本にも興味をもってほしい。
- ②思いやりの気持ちをもって図書の貸し出し作業や読み聞かせなどを行っていききたい。
- ③心が温くなる本等を題材にした絵本の読み聞かせ。ISSとテーマが合う本の選定。しおりコンテスト。

【保健給食委員会】

- ①学校でのけがを防ぐためにデータを見ながら話し合いました。どのようなけがが起こっていて、どうしたら防げるかを考えました。
- ②全校児童への呼びかけ
- ③けがの多かった学年、種類、場所、時間、月について知らせるクイズ集会の実施「保健給食委員会だより」を作成し、けがの予防について発表したことをクラスに掲示

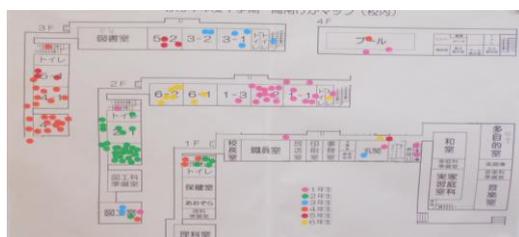


図64 〈校舎内のけがマップ (学年毎に色分け)〉

図60 〈休み時間の終了に、放送で安全・安心を促す様子〉



図61 〈休み時間に、校庭をパトロールする様子〉



図62 〈オンラインで本の読み聞かせをする様子〉

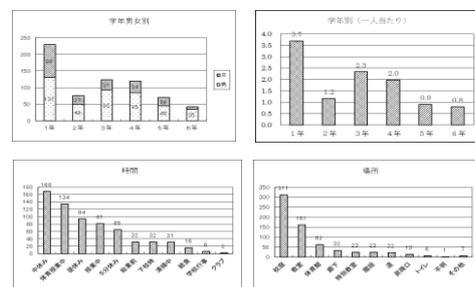


図63 〈校内におけるけがのデータ (毎月発行)〉

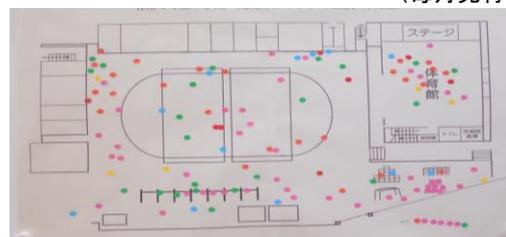


図65 〈校庭のけがマップ (学年毎に色分け)〉

【環境美化委員会】

- ①人権の花への水やりを通して、思いやりの心をみんなに持ってもらうようにしたり、リサイクルペーパーの回収をしたりすることを考えました。
- ②校庭にある人権の花への水やり、リサイクルの回収



③中休みに、校庭の人権の花へ水やり。リサイクルに関する問題意識を持ってもらうためのクイズ形式の集会

図 6 6 〈人権の花を植えている様子〉

指標6 外傷の発生頻度や原因などを記録するプログラムがある

1 校内におけるけがの記録

保健室データや生活ふりかえりアンケートの調査用紙は、生活指導部で収集・分析しています。

校内におけるけがの記録	軽微なものを含むけが (保健室データ)	保健室において、「保健室来室記録(けが)」を使い、けがや事故の情報収集をし、統計処理をしています。	月ごと 分析
	通院を要するけが (災害共済給付データ)	学校管理下における児童の災害医療費請求のため、日本スポーツ振興センターへ提出する記録を区に提出しています。	年1回 分析

<表 5-5 記録しているデータと活用法例>

(1) 軽微なものを含むけが(保健室データ)の収集

「保健室来室記録(けが)」は「けがの種類」「どこをけがしたか」「いつ」「けがをした場所」「処置」の項目に加え、「けがをしたのはどうなったから」「どんな理由か」の項目を本人、保健委員会児童または養護教諭が記入しています。けがの状況を記録するとともに、けがの予防についても考えさせます。

記入・処置後は月ごとに「けがマップ」に学年の色のシールを貼っています。



図 6 7



図 6 8

(2) 通院を要するけがの記録収集(「豊島区独自の外傷サーベイランス」より)

学校管理下のけがや事故で、災害共済給付制度や応急処置料の請求・申請の有無に係わらず病院にかかったけがについて記録します。校内の指導や環境改善に生かしています。

表 5-6 豊島区独自の外傷サーベイランス記録より抜粋(2022年7)

No.	日にち	曜日	年男女	年組	項目	部位	時間	場所	理由
1	4月19日	水	4年男	42	骨折	左肩	体育授業中 ^⑥	校庭	転倒
2	4月28日	木	4年男	42	捻挫・つき指	右手首	中休み	体育館	転倒
3	4月13日	水	4年男	42	その他	左足裏	中休み	校庭	飛び降り
4	5月13日	金	6年男	62	骨折	左3指	5分休み	教室	衝突(いす)
5	6月8日	水	4年男	42	その他	腰痛	中休み	校庭	転倒
6	6月17日	金	4年女	41	捻挫・つき指	首	昼休み	校庭	転落(鉄棒)
7	6月22日	水	6年男	62	捻挫・つき指	首	体育授業中 ^⑤	体育館	衝突(マット)
8	6月29日	水	6年男	62	擦過傷・挫傷	前頭部	授業中 ^{①音楽}	特別教室 ^{音楽室}	衝突(ドア枠)
9	6月29日	水	4年男	41	打撲	右目	体育授業中 ^{④プール}	その他 ^{プール}	衝突(人の足)
10	6月30日	木	5年男	52	骨折	左手	授業中 ^{④学活}	体育館	転倒

指標 7 学校政策、プログラム及びそのプロセスが変化したことによる効果を評価する方法がある

1 プログラムの進行管理

学校内の I S S 推進組織である「運営委員会」と「生活指導部」「特別活動部」がそれぞれの担当プログラムの進行管理を行っています。I S S 地域対策委員会で報告を行い、成果指標に基づいて、プログラムの効果を評価し改善案を学校に戻します。

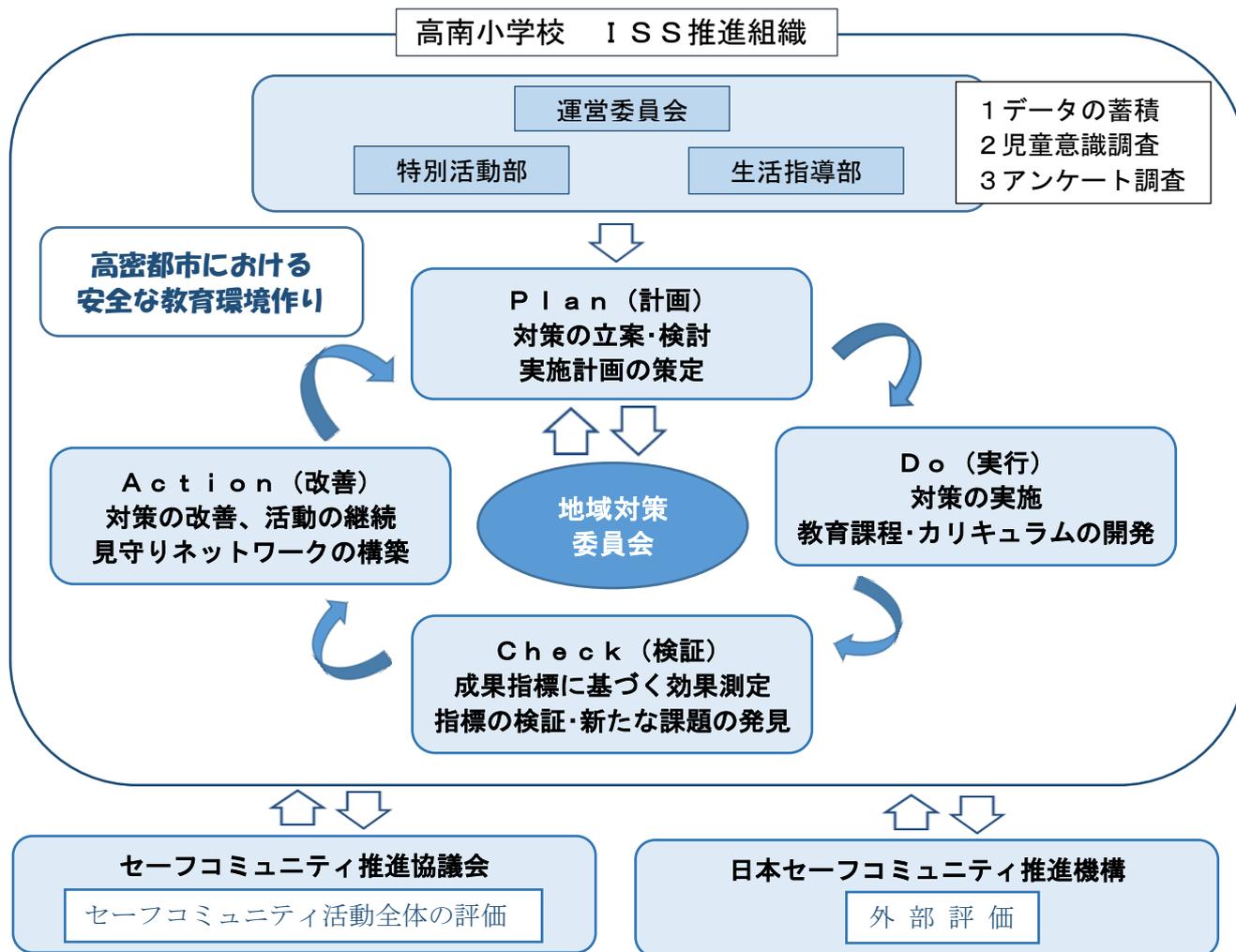


図 6 9

< I S S 地域対策委員会 >

2022 年 5 月実施。本年度の実施計画等について確認、検討を行いました。

< I S S 事前指導 >

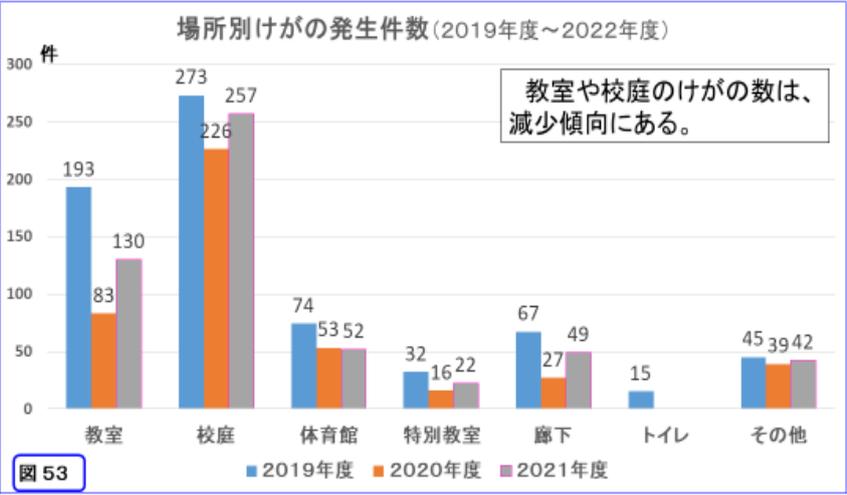
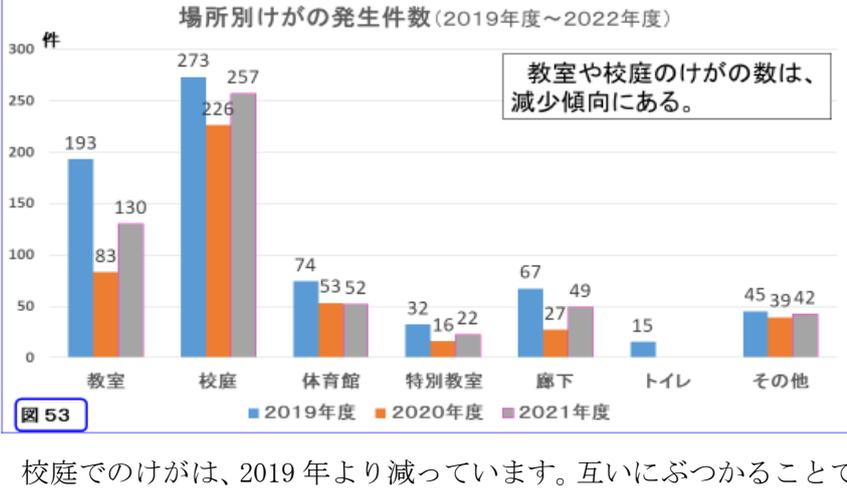
2022 年 6 月に日本 ISC 推進機構 代表理事 白石陽子 氏によるオンライン事前指導を受けました。



図 7 0 < I S S 地域対策委員会の様子 >

予防対象と主な活動の評価基準と途中経過

①確認手段 ②確認の対象

予防対象と主な活動 評価の基準	途中経過（2022年3月）																																
1 休み時間の教室でのけがの減少																																	
<ul style="list-style-type: none"> ・児童によるけがデータの記録と発信 ・児童による呼びかけ活動 ・一週間単位でのけがの発生データの共有 ・安全指導 <p>基準1：場所別けがの発生件数の分析</p> <p>①保健室の記録 ②全児童</p> <p>図71</p>	 <p>場所別けがの発生件数(2019年度～2021年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教室</td> <td>193</td> <td>83</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>校庭</td> <td>273</td> <td>226</td> <td>257</td> </tr> <tr> <td>体育館</td> <td>74</td> <td>53</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>特別教室</td> <td>32</td> <td>16</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>廊下</td> <td>67</td> <td>27</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>トイレ</td> <td>15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>45</td> <td>39</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> <p>教室や校庭のけがの数は、減少傾向にある。</p> <p>図53</p> <p>教室でのけがは、2019年より減っています。また、児童アンケートにより、約9割の児童が「けがをしないように気を付けて行動している」という意識を持っていることが分かりました。児童が自らけがのデータを発信することで、意識付けにつながりました。</p>	場所	2019年度	2020年度	2021年度	教室	193	83	130	校庭	273	226	257	体育館	74	53	52	特別教室	32	16	22	廊下	67	27	49	トイレ	15			その他	45	39	42
場所	2019年度	2020年度	2021年度																														
教室	193	83	130																														
校庭	273	226	257																														
体育館	74	53	52																														
特別教室	32	16	22																														
廊下	67	27	49																														
トイレ	15																																
その他	45	39	42																														
2 休み時間の校庭でのけがの減少																																	
<ul style="list-style-type: none"> ・児童によるけがデータの記録と発信 ・児童による呼びかけ活動 ・一週間単位でのけがの発生データの共有 ・児童による校庭パトロール ・遊びのルール ・安全点検 <p>基準2：場所別けがの発生件数</p> <p>①保健室の記録 ②全児童</p> <p>図71再掲</p>	 <p>場所別けがの発生件数(2019年度～2021年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教室</td> <td>193</td> <td>83</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>校庭</td> <td>273</td> <td>226</td> <td>257</td> </tr> <tr> <td>体育館</td> <td>74</td> <td>53</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>特別教室</td> <td>32</td> <td>16</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>廊下</td> <td>67</td> <td>27</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>トイレ</td> <td>15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>45</td> <td>39</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> <p>教室や校庭のけがの数は、減少傾向にある。</p> <p>図53</p> <p>校庭でのけがは、2019年より減っています。互いにぶつかることで起きるけがを防ぐために、体育委員による校庭パトロールで声かけを行いました。声かけを通して、児童が間隔をとって遊ぶように意識しています。教員も、休み時間に外に出て、児童の行動を観察し、1週間に一度の生活指導夕会で課題を共有します。週ごとに課題について振り返り、児童への生活目標を示すことで、児童の安全へ意識付けを継続的に行うことが出来ました。</p>	場所	2019年度	2020年度	2021年度	教室	193	83	130	校庭	273	226	257	体育館	74	53	52	特別教室	32	16	22	廊下	67	27	49	トイレ	15			その他	45	39	42
場所	2019年度	2020年度	2021年度																														
教室	193	83	130																														
校庭	273	226	257																														
体育館	74	53	52																														
特別教室	32	16	22																														
廊下	67	27	49																														
トイレ	15																																
その他	45	39	42																														

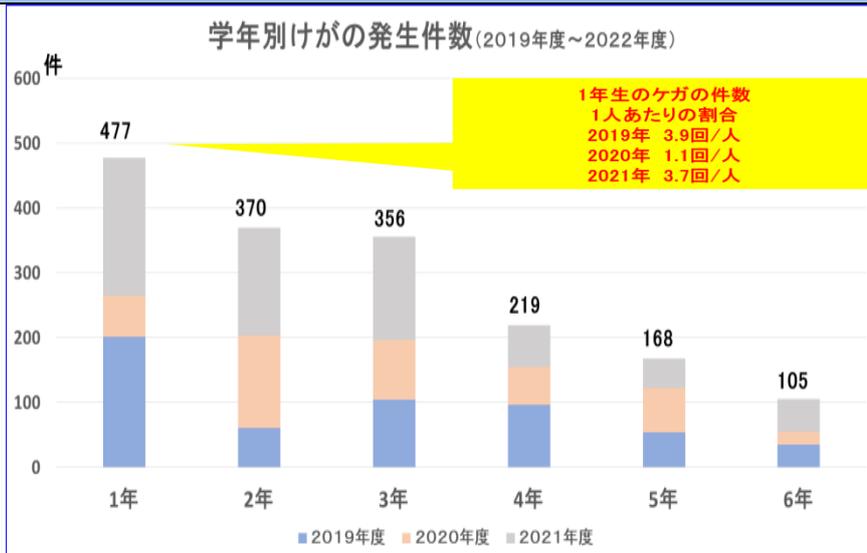
3 1年生の教室・校庭での休み時間のけがの件数

- ・1年生プロジェクト
- ・アミーゴ班活動
- ・児童によるけがデータの記録と発信
- ・児童による児童 ISS 集会
- ・遊びのルール

基準3：1年生の教室・校庭でのけが件数と原因分析

①保健室のけがのデータを集計

②全児童



1年生のけがの件数は、年度で若干減っています。1年生プロジェクトとして、休み時間や給食、掃除の時間など、1年生と6年生の関わりを大切にしています。校庭での遊び方、教室での過ごし方など、6年生が、機会を見つけて教えています。

図72

4 学区域の特徴に応じた交通事故予防

- ・安全指導
- ・学区域の安全点検
- ・ヒヤリ・ハット図の作成
- ・自転車安全教室の実施
- ・地域の方の見守り

基準4：地域・通学路の交通安全

①ヒヤリハット体験アンケート

②児童

①安全マップの作成

②教師→児童

ヒヤリハットの体験は、2022年度には約4割の児童がヒヤリハットの体験があると答えています。以前よりも体験のある児童が減少している傾向が見られました。安全に関する意識の定着は、学年によって差が見られました。下図は、児童がヒヤリハットを経験した場所の記録です。交通事故に関しては、2022年度も引き続き0件でした。学区域での活動について、自分たちで気付けることが出来るようになってきているか、調査、確認をしていきます。

学区域を歩いているときヒヤリ、ハットしたこと

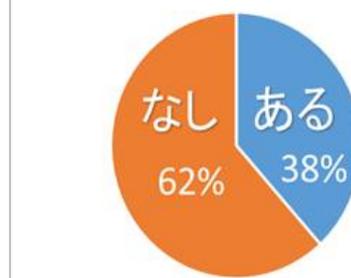


図25再掲

図73

5 学区域の特徴に応じた防犯・防災への備え

- ・PTAスクールリーダー
- ・PTA安全マップ作り
- ・PTA防犯パトロール
- ・セーフティ教室
- ・土砂災害想定避難訓練
- ・民生児童委員さんによるすまいる活動

基準5：地域・保護者の声

- ①行事ごとのアンケート
- ②保護者・参加者
- ①パトロール記録ノートの記述内容②保護者
- ①学校評価
- ②全保護者・学校運営連絡

図74

協議会委員

PTA防犯パトロールを継続して行うことにより、校外での児童の行動について、情報収集し、共通理解を図ることができています。PTAパトロール当番ノートの記載を生かして、放課後での安全に関する指導を学級でも行っています。放課後、校外での児童の安全に関する保護者からの相談は、2022年度6月の段階で0件となっています。

避難訓練時に行う集団下校に向けて、「東京マイタイムライン」を活用し、学区域でのハイリスクとなっている風水害時の避難について、1年生と4年生が学んでいます。また、2022年度第1回学校運営連絡協議会にて、土砂災害を想定した避難場所の見直し等について、地域の方から意見をいただきました。



6 心のけが いじめ等 への対応

- ・保健室、カウンセラーによる心のサポート
- ・図書委員会児童による読み聞かせ
- ・計画委員会児童によるうれしかなしメーター
- ・i-checkの分析
- ・SNS高南ルールの策定

基準6：いじめの発生件数

- ①「よりよい学校生活のためのアンケート」
- ②全児童

基準7：互いを思いやる気持ちの表れ

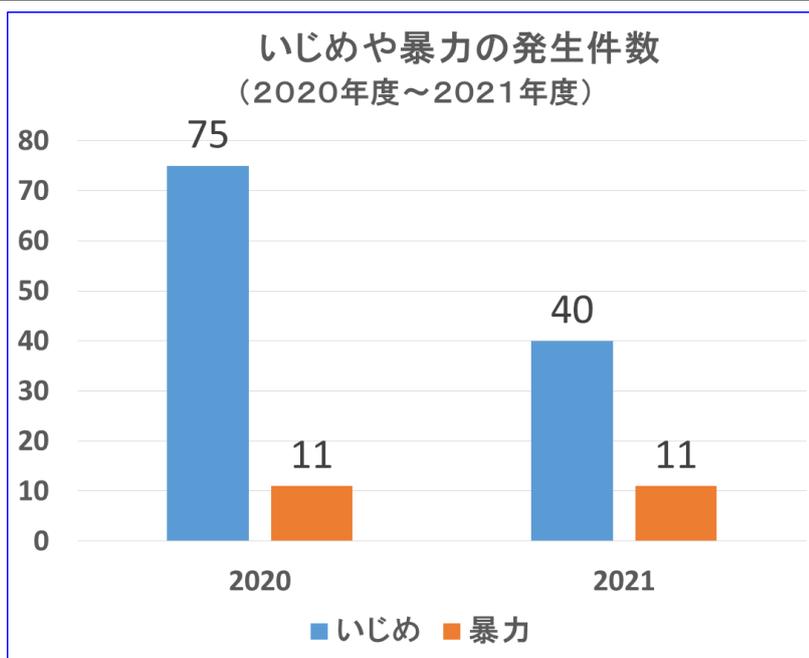
- ①パチパチカード※への記載内容の読み取り
- ②全児童

※行事や友だちとの交流があったとき、自主的に記載するカード

基準8：i-check結果(再掲)

- ①いじめのサインが出ている児童
- ②3年生以上

図21・22再掲



学年別のいじめや暴力の訴え件数

2-3心のケガ② 学年別のいじめや暴力件数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2020年	10	23	14	14	23	2
2021年	14	6	8	10	8	5

図11 1年生のいじめの訴え件数が増加傾向にある。

基準6「よりよい学校生活のためのアンケート」で、児童から申告

のあったいじめの件数は、学校全体で35件減っています。また、学年ごとの件数でも、1年生を除いて、それぞれが減少しています。内容を確認すると、低学年での突発的な悪口や暴力が出てしまう傾向が見られます。互いを思いやる気持ちを育む活動に継続的に取り組んでいる在校児童は、年を重ねて成長するにつれて、そういった行動が減少していると考えられます。

基準8「i-check 結果 いじめのサインが出ている児童」の結果は、中学年の数が多いという結果となりました。質問項目に「周りでいじめを見たり聞いたりして、心が痛むことはありますか」というものがあるため、具体的ないじめの案件数とズレがあります。しかし、中学年以上の各学級でいじめが複数件認識されている事実として捉え、今後とも児童を注意深く見守っていきます。

【学級】	児童数	男	女	合計	割合
3-1	34	9	6	15	44.1
3-2	34	9	5	14	41.2
4-1	30	7	1	8	26.7
4-2	29	11	3	14	48.3
5-1	31	5	2	7	22.6
5-2	31	2	2	4	12.9
6-1	39	5	3	8	20.5
6-2	40	3	3	6	15.0
合計	268	51	25	76	28.4

指標 8 国内・国際的なネットワークへ継続的に参加している

1 国内ネットワークへの参加

- 2016
- ・豊島区立仰高小学校と豊島区立池袋本町小学校事前審査出席
 - ・豊島区立仰高小学校と豊島区立池袋本町小学校現地審査出席

- 2017
- ・豊島区 I S S 支援員との第 1 回研修会
 - ・豊島区 I S S 支援員との第 2 回研修会
 - ・豊島区立池袋第一小学校事前審査出席
 - ・ I S S 公認認証審査委員学校訪問
 - ・区セーフコミュニティ推進会議出席
 - ・豊島区立池袋第一小学校現地審査出席

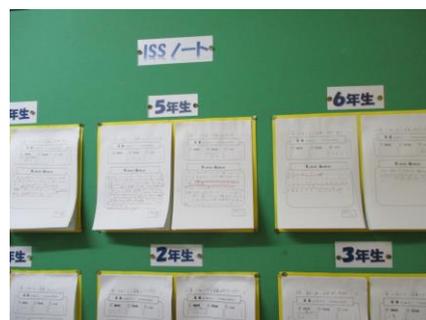
- 2018
- ・区セーフコミュニティ再認証式出席
 - ・豊島区立池袋第一小学校認証式出席
 - ・ I S S 公認認証審査委員来校
 - ・本校事前審査会
 - ・厚木市立妻田小学校現地審査会出席

- 2019
- ・仰高小学校・清和小学校・池袋本町小学校現地審査会出席

- 2020
- ・仰高小学校・清和小学校・池袋本町小学校合同認証式出席

- 2021
- ・さくら小学校・池袋中学校現地審査会にオンライン参加
 - ・秩父市立小・中学校現地審査会にオンライン参加
 - ・さくら小学校、千川中学校、池袋第一小学校、池袋中学校合同認証式出席

これまで、ISS 認証を取得した学校を視察して学び、本校の活動内容の充実に努めています。



区内 ISS 認証校、特に、隣接学区の富士見台小学校・朋有小学校とお互いの取組について情報交換をし、互いに刺激し合いながらより活発な活動を目指していきました。今後も交流を深めながら「安全・安心な学校づくり」に取り組んでいきます。

第6章 安全な学校づくりに向けての今後の取組と展望

1 I S Sの取り組みによる成果

- (1) 児童の主体性が高まりました。「高南セブン」委員会活動を通して、安全に対する意識を下級生に伝えていく意識を向上させています。児童はI S Sの取り組みに関するアイデアを提案し、自主的な活動につながっています。教員も、児童の主体的な安全に対する力（危険回避力）を高めることを第一に考える、という共通認識のもと、活動に取り組みました。「主体的な活動を大切に」するというI S Sへの取組があることで、あらゆる場面での教員の児童への関わり方による影響を与えています。
- (2) 地域・保護者との連携が強化されています。I S S活動を継続することで、民生児童委員、地域の企業との結びつきが維持され、地域全体で子どもを育てるといった地域のよさが見られます。学校行事を参観される地域の方も少しずつ増えています。
- (3) けがの減少が確認できました。安全診断による「実態の見える化」「安全に関する問題点の焦点化」を継続して行うことにより、どの教員も課題意識を持ってI S S活動に取り組むことで、校庭、教室共にけがの件数が減少しました。

2 中・長期目標

- (1) 区内のI S S認証校との児童交流を、学期に1回程度行います。総合的な学習の時間や時間や放課後の時間を使って、お互いの活動を紹介し合い、高め合っていく予定です。
- (2) 児童数が大きく増加する中で、現在の施設設備の環境の中で、運動の機会を保障することが難しくなってくるのが予想されます。安全診断より、狭い中でもけがをしないような運動の仕方や環境の整え方について検討していきます。
- (3) 全校縄跳び運動など、体幹力、調整力を鍛え、けがをしにくい体を育てることを目指して、児童がよりよく運動に取り組める環境作りを目指します。
- (4) 学区域の特性に関連した防災意識や交通安全に対する意識を高めることに継続して取り組みます。
- (5) 民生児童委員による「すまいる」活動が地域に広まるように、啓発活動を行います。地域の安全を見守る活動について、教員や児童からもアイデアを募集します。

3 今後の展開

- (1) 現在の活動が形式的なものにならないように、I S S認証取得のための取り組みを今後も継続し、日常の教育活動としていくために、年間指導計画にしっかりと位置付けていきます。また、それぞれの取り組みで見られる児童の主体的な活動を、安全診断により振り返り、適切にフィードバックすることで、活動を見直し、改善していけるようにします。
- (2) 児童が学校を変えることが出来るI S S活動として、児童の主体的な活動に価値付けし、児童の意識を向上させることで、新たな取り組みへの意欲付けを行っていきます。そのために、活動の成果を児童と共有できるように、実践後の成果を見える化していきます。
- (3) 学校・保護者・地域が一体となって、児童を見守る大切さが浸透しつつあります。学校の教育活動への参加、地域行事への児童の参加、と双方向で交流を深め、児童を地域で育てる活動へ進めていきます。